

高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.14

目次	2019年度の終わりに	(1)
	2019年度地域科学研究所事業報告	(4)
	高崎経済大学ブックレット新刊案内	(43)
	地域科学研究所動静	(43)
	編集後記	(44)

2019年度の終わりに

地域科学研究所長 西野 寿章

地域科学研究所が設立され5年が終わろうとしています。おかげさまで、2019年度も春の連携公開講座、秋の公開講座は、学習意欲の高い高崎市民、群馬県民のみなさまの熱心さに支えられて順調に運営することができました。また、地元学講座は150年前の高崎五万石騒動をテーマとして騒動の背景を学習し、地域めぐりでは高崎の農業、森をテーマとして地域農業の現状、里山の自然と災害に強い森づくりの現場を見て学びました。本学学生が中心市街地で運営しているcafeあすなろにおいて夏に開講したあすなろ市民ゼミにおいても、今日の地域的課題に対して熱心な議論が繰り広げられました。市民、県民向けのこれら諸事業に熱心にご参加いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。

一方、基礎研究事業として進めております高崎市製造業研究は、高崎商工会議所、企業様のご協力を得て、2019年はタイとベトナムに進出されている高崎市企業の海外現場を取材させていただきました。2020年度には、2018年度の中国進出企業を含めて、堅調な動きを見せている高崎市製造業の特性分析研究の成果をまとめます。また2019年度からは、高崎中心市街地研究に着手しました。町中の空洞化が進む中、国内外の先進事例に学びながら、高崎に固有のまち

づくりへの政策的視点を見出したいと考えています。そして、高崎市の農業、生活に重要な役割を果たしてきた長野堰の歴史的役割についての研究成果を2020年度に公開いたします。加えて、2018年度から刊行を始めました高崎経済大学ブックレット(別掲)も年度末に公開されます。

2019年度も、地域科学研究所の事業は滞りなく終了する予定でしたが、今年に入って日本でも新型コロナウイルスの感染が拡大し、これにより、高崎中心市街地研究のために予定されていた3件の出張を取り止めました。政府は学校の休校措置、イベント自粛などを要請しました。本学も教職員の健康管理の観点から、国内外への出張自粛、在学生へも海外渡航の自粛を要請しました。3月7日には群馬県において初の感染者が見つかり、群馬県関係の委員会でも会合を中止し、書面決議に変更されました。

2019年12月に中国・武漢市において発生していたと見られている新型コロナウイルスによる肺炎患者は世界中に広がりました。経済のグローバル化によって、国間、地域間の人の動きは活発となりました。新型コロナウイルスの世界的拡散は、このことを端的に示しています。2020年に入って、中国での感染者の増加に伴い、中国政府は武漢市を封鎖し、中国の人々の地域間移動を止めました。

日本政府は、2003年以降、ビジット・ジャパ

ンキャンペーンを行い、観光立国を目指しました。その背景には、バブル崩壊後、急激な円高により空洞化の進み、経済成長率が低迷して、振興可能な観光振興に舵を切ったことがあります。戦後の高度経済成長は、基本的には製造業が牽引したと言ってもよいと思います。第二次産業の成長と国民所得の向上は第三次産業の成長を促し、多様なサービス産業を生み出してきました。しかし、1985年のプラザ合意によって急激に円高が進み、原材料の多くを輸入に依存し、製品を輸出していた製造業は、円高による収益の減少を抑制するために製造拠点の海外化を推進しました。ちょうど中国が地域を限定して経済解放区を設定した時期とタイミングが合致しました。円高は円の国際的な貨幣価値が上がったということですが、多くの製造業は、それへの備えがなく、また日本の産業政策も、後々に問題を残すバブル経済の繁栄に麻痺して、足下の経済への目配りをしていなかったとも言えます。産業空洞化は、特に企業誘致を積極的に展開していた地方都市や農山村地域に深刻な雇用問題、地域経済問題を生み出し、中小規模の地方都市の疲弊が顕在化し始めました。

2001年からは、小さな政府論に立脚した構造改革が推進されました。1980年代は国鉄、電電公社などの民営化が進められましたが、2001年から進められた郵政と道路公団の民営化はその第二弾でした。また規制緩和によって、市場競争によって弱体化した地域商業を淘汰する動きも出てきました。大型店と地元商店街の調整機能を持っていた大店法は、米国からの要請によって廃止され、市場原理に委ねる姿勢が強まりました。そして、バブル経済崩壊に伴う不良債権問題の処理、税収減などの国家財政問題も顕在化して、平成の大合併が進められて、自治体は約半数まで減少しました。21世紀初頭のデフレ経済下の日本は、経済成長の望めない行き詰まりを感じさせる時期でもありました。こうした状況

下において観光立国を目指そうとしたのは、新興国の追い上げによって、ものづくり日本の地位も危うくなりつつある中で、観光が成長を望める産業分野であったからと行うことができました。

それまでも、京都や奈良といった歴史都市へは、外国から多くの観光客がやって来ていましたが、ビジット・ジャパンキャンペーンは国民所得が向上してきたアジア諸国からの観光客の来日を狙ったものでした。2012年以降、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンに対してビザ要件の免除と緩和を図り、2015年には中国からの渡航者のビザ要件を緩和しました。こうした緩和策だけではなく、これらの国々から見た円安やLCC(格安航空会社)の発達は、アジアの国々からの観光客を大幅に増加させました。統計によると、中国からの来日者数は2014年では約240万人でしたが、2018年には838万人にも増大しています。中国からの観光客は、京都や奈良といった日本を代表する地域だけではなく、東京や大阪といった大都市にも多くが訪れ、購買観光とでも言うべき現象が生まれました。今や、日本のあらゆる地域に外国人観光客が訪れるようになり、少子高齢化によって観光人口が減少している日本の観光地が活気づくようになりました。群馬県の温泉地にも、多くの外国人観光客が来るようになりました。

こうした外国人観光客の増大は、一方では地域住民の日常生活に影響を及ぼす観光公害も発生していました。京都市では、市民の足である市営バスが観光客であふれ、市民が乗れない現象が生まれ、市民と観光客のバス停を別々にしようとする動きが出るほど問題化していました。また、こうした観光客の増大を狙った高級ホテルの建設ラッシュとなり、規制緩和によって格安に宿泊できる簡易宿泊所も増大しました。こうした地域では、地価が高騰し、これに伴い家賃も値上がりするケースも見られました。しかし、

新型コロナウイルスの感染が拡大しますと、観光客が急減しました。

写真1は、2019年5月27日に撮影した京都の祇園町の様子です。ここは、歩行者天国ではないのですが、風情ある町並みを見たいと多くの外国人観光客が道路にあふれ、自動車の通行を妨げています。地元祇園の人々は、余りにも観光客が多く、祇園町本来の静けさが保つことができないことから、観光客には来て欲しくないとまで言い切りました。道徳心に欠ける観光客に罰金を取る姿勢を見せるまで、外国人観光客の増大は、深刻な観光公害を生み出していました。



<写真1 2019年5月27日の京都・祇園町>

写真2は、2020年2月8日に同じ場所で撮影した様子です。中国は、1月25日に国民の海外団体旅行を禁止しました。その結果、中国からの観光客は激減し、ご覧の通り、人通りはまばらです。京都の人は、昔の静かな京都に戻った、バスにも普通に乘れるようになったと言っておられましたが、観光業界は大打撃を受けています。こうした事態になるとは、誰も予想もできず、一定規模の外国人観光客がコンスタントに来日することを前提とした経営計画を立て投資してきた観光関連業界が困惑するのは当然のことです。新型コロナウイルスの拡散が様々な業種において雇用を不安定にしており、この状態が長引けば、外国人観光客を当てにした経営を行ってきた事業所への影響は大きいものがあるもの

と思われます。



<写真2 2020年2月8日の京都・祇園町>

ここで留意しなければならないのは、この2枚の写真の極端さです。京都は、修学旅行の訪問地として最も多く選択されています。古都の歴史、文化、風情を学ぶためです。そして日本人の多くも京都を訪れます。来日した観光客も、多くは京都に立ち寄ります。京都は1年を通じて、一定の観光客が来ていました。ホテルなどの宿泊施設や飲食店も、ビジネス需要を含めても足りていました。しかし、2015年頃から見られるようになった中国からの観光客の急増は、宿泊施設の不足を招いて、日本人が京都に泊まろうとしてもホテルが確保できない現象が起きました。こうした混雑に乗じて、通常の2~3倍の室料を取るホテルも現れたりしました。有名観光地の混雑と宿泊料金の高騰は、日本人の京都離れを引き起こすことになりました。しかし、それだけ需要があるのであればと、国内外の資本がホテル建設に乗り出し、京都は空前のホテル建設ラッシュとなっています。富裕層をターゲットにした1泊1人10万円の高級ホテルの建設計画も見られます。筆者には、1980年代後半から90年代前半にかけて全国で展開し、後に巨額の負債を残したバブル経済期のリゾート開発と重複して見えます。

やがて新型コロナウイルス感染が収束すれば、再び、多くの外国人観光客が来日することに

なると思いますが、外国人観光客への過度の依存は、写真のような極端な結果を招くことにもなることに留意する必要があると思われます。京都は基盤となる日本人観光客も減少してきたことによって、二重の打撃を受けています。京都は、こうした現象をどのような教訓とするのか、日本を代表する文化観光都市として、官民の手腕に注目したいと思います。

持続可能な発展とよく言われます。経済は生き物ゆえに、一定の状態を保つことは困難です。しかし、空前の経済発展と言われたバブル経済は、もちろん崩壊すると負の遺産がその後の日本経済に大きく影響しました。振り返りますと、世界は経済危機を何度も乗り越えてきました。1929年の米国株式市場暴落を発端とした世界大恐慌は、養蚕を生業としていた日本の奥深い山村の経済にまで影響を及ぼしていました。今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、日本経済、世界経済にどのような形で影響を及ぼすのかは、未だわかりませんが、筆者の身近なところでは、雇用中止や勤務時間の短縮などがすでに見られます。

100年後は大げさとしても、50年後、せめて30年後の地域をどのような姿としていくのかを描きながら、それぞれの地域の経済的基盤をしっかりと構築していく地域政策が必要だと考えられます。地域科学研究所では、来年度も市民、県民の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、高崎市、群馬県の歴史、現状を分析しながら、未来について引き続き考えたいと思います。今は、一刻も早い新型コロナウイルスの収束を願うばかりです。

2019年度地域科学研究所事業報告

1 研究プロジェクト

- (1) 「長野堰の成立と歴史的役割に関する研究」

プロジェクトリーダー：西野 寿章所長
(地域政策学部教授)

○研究期間：2017年度～2019年度

- (2) 「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」

プロジェクトリーダー：永田 瞬所員
(経済学部准教授)

○研究期間：2018年度～2020年度

●海外企業調査①

日程：2019年9月3日～7日

内容：高崎市内製造業のベトナム（ホーチミン）現地事業所調査

●海外企業調査②

日程：2019年9月4日～8日

内容：高崎市内製造業のベトナム（ハイフォン）現地事業所調査

●海外企業調査③

日程：2019年9月10日～13日

内容：高崎市内製造業のタイ（ラヨー）現地事業所調査

●公開研究会

日時：2020年2月19日（水）

15:00～17:30

場所：本学図書館ホール

- (3) 「地方都市中心市街地研究」

プロジェクトリーダー：阿部 圭司所員
(経済学部教授)

○研究期間：2019年度～2021年度

●公開研究会

第1回

日時：2019年7月3日（水）

15:00～17:30

場所：本学図書館ホール

講師：戸所 隆氏（高崎経済大学名誉教授）

第2回

日時：2019年10月5日（土）

10:00～12:00

場所：本学図書館ホール

講師：諸富 徹氏（京都大学経済学研究科教授）

テーマ：「自由貿易下における農業・農村の再生－家畜伝染病の発生と農村の再生を含め－」

(2)6月1日（土）

講師：谷口 聡所員（経済学部教授）

テーマ：「死後事務の法的課題と展望」

(3)6月8日（土）

講師：大島 登志彦所員（経済学部教授）

テーマ：「地域公共交通の種別－その利用促進と活性化に向けた課題－」

(4)6月15日（土）

講師：安田 慎所員（地域政策学部准教授）

テーマ：「リスク社会のなかの観光－中東・ドバイから考える－」

(5)6月22日（土）

講師：西野 寿章所長（地域政策学部教授）

テーマ：「森林環境税と山村のゆくえ」

2 公開講演会

(1)日時：2019年7月5日（金）

16:00～17:30

場所：本学図書館ホール

講師：北見 万幸氏（横須賀市福祉部福祉専門官）

テーマ：「なぜ今、行政が終活を支援しなければならぬか－無縁遺骨が鳴らす現代社会への警鐘－」

参加者数：41人

(2)日時：2019年7月22日（月）

12:40～14:10

場所：本学1号館111教室

講師：佐藤 翔平氏（日本微住計画 BLOG 主宰，株式会社アカサカテック）

テーマ：「日本微住計画－旅でも移住でもない，定住しない暮らしかた－」

参加者数：25人

3 第4回連携公開講座

期間：2019年5月25日（土）

～6月22日（土）

時間：13:30～15:00

場所：高崎市中央公民館視聴覚集会室

参加者数（実数）：65人

(1)5月25日（土）

講師：宮田 剛志所員（地域政策学部准教授）

4 第36回公開講座

期間：2019年10月4日（金）

～12月2日（月）

時間：18:30～20:00

場所：本学6号館621教室

参加者数（実数）：77人

(1)10月4日（金）

講師：秋朝 礼恵所員（経済学部教授）

テーマ：「なぜスウェーデンは高負担・高福祉国家になったのか」

(2)10月9日（水）

講師：藻利 衣恵所員（経済学部准教授）

テーマ：「企業の資金調達，貸借対照表にどう表示されるべき？－海外の基準設定における負債と資本の区分とその動向－」

(3)10月16日（水）

講師：福間 聡所員（地域政策学部教授）

- テーマ：「幸福についての哲学的考察」
 (4)10月24日(木)
 講師：佐藤 英人所員(地域政策学部教授)
 テーマ：「人口減少社会における住宅地の将来像」
 (5)10月29日(火)
 講師：水口 剛所員(経済学部教授・副学長)
 テーマ：「最近の環境問題と企業経営」
 (6)11月7日(木)
 講師：黒崎 龍悟所員(経済学部准教授)
 テーマ：「東アフリカ、技術協力の最前線
 -有用な技術がなぜ普及しないのか?-」
 (7)11月14日(木)
 講師：岩崎 忠所員(地域政策学部教授)
 テーマ：「自治体の空き家対策-これまでの取り組みと今後の方向性-」
 (8)11月19日(火)
 講師：矢野 修一所員(経済学部教授)
 テーマ：「米中摩擦と日本経済」
 (9)11月27日(水)
 講師：高橋 伸次所員(地域政策学部教授)
 テーマ：「オリンピックと日本」
 (10)12月2日(月)
 講師：尾形 祥副所長(経済学部准教授)
 テーマ：「学校法人のガバナンス」

5 地域めぐり

- (1)第7回「烏川流域の農業をめぐる」
 日時：2019年9月6日(金)
 9:30~16:00
 講師：西野 寿章所長(地域政策学部教授)
 コース：米農法見学(倉渕町)-くらぶち草の会-はまゆう山荘-悴田梨園

- 参加者数：12人
 (2)第8回「高崎市の森をめぐる」
 日時：2019年10月21日(月)
 9:30~16:00
 講師：西野 寿章所長(地域政策学部教授)
 コース：観音山野鳥の森-アートマルシェ-箕郷市有林
 参加者数：19人

6 地元学講座

- (1)第7回「高崎五万石騒動 百姓衆の願い・今に生かすこと」
 日時：2019年10月2日(水)
 16:00~17:30
 場所：本学1号館111教室
 講師：女屋 定俊氏(高崎五万石騒動記念行事実行委員会実行委員長)
 参加者数：15人
 (2)第8回「高崎五万石騒動-石碑から見た農民たちの素顔-」
 日時：2019年11月25日(月)
 14:30~16:00
 場所：本学図書館ホール
 講師：和田 健一氏(群馬県地域文化研究協議会常任委員)
 参加者数：72人

7 第4回地域経営セミナー

- 日時：2019年11月15日(金)
 14:00~16:00
 場所：本学図書館ホール
 テーマ：「観光公害時代の地域政策を考える」
 ○基調講演「観光公害を政策マーケティング思考で考える」
 講師：有馬 貴之氏(横浜市立大学国際教養学部都市学系准教授)

○総合討論

コーディネーター：安田 慎所員
(地域政策学部准教授)

参加者数：9人

テーマ：「地域における新たな生活保障の
かたちを考える」

参加者数：5人

8 第2回あすなろ市民ゼミ

期間：2019年8月20日(火)
～9月25日(水)

時間：18:00～20:00

場所：cafe あすなろ(高崎市鞆町73番
地)

(1)8月20日(火)

講師：片岡 美喜所員(地域政策学部教
授)

テーマ：「私たちの食と農の未来を考え
る」

参加者数：6人

(2)9月3日(火)

講師：若林 隆久所員(地域政策学部准教
授)

テーマ：「ソーシャル・キャピタルをいか
に構築するか」

参加者数：5人

(3)9月13日(金)

講師：米本 清所員(地域政策学部准教
授)

テーマ：「中心市街地の再生とその罨」

参加者数：5人

(4)9月25日(水)

講師：森 周子所員(地域政策学部教授)

9 ぐんま地域経済研究会

(1)第5回

日時：2019年6月5日(水)
16:00～18:00

場所：本学図書館会議室

報告者：田戸岡 好香准教授(地域政策学
部)

(2)第6回

日時：2019年10月2日(水)
16:00～18:00

場所：本学図書館会議室

報告者：田戸岡 好香准教授(地域政策学
部)

10 会議等

2019年

4月10日(水) 運営会議

4月17日(水) 所員会議

5月8日(水) 運営会議

6月12日(水) 所員会議

9月13日(水) 運営会議

10月30日(水) 運営会議

2020年

2月19日(水) 運営会議

所員会議

* * * *

11 参加者アンケート結果(抜粋)

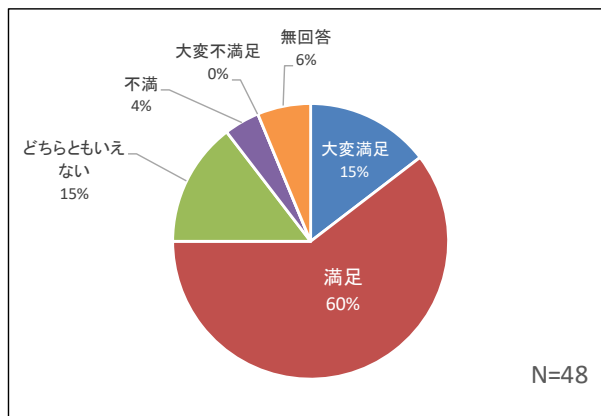
各事業の参加者アンケートの結果を紹介します。なお、第4回連携公開講座の参加者アンケート結果については、ニュースレター第12号をご覧ください。

《第36回(2019年度)公開講座》

○最終回(12/2)受講後, アンケート調査を実施。[有効回答数: 48人(回収率: 90.56%)]

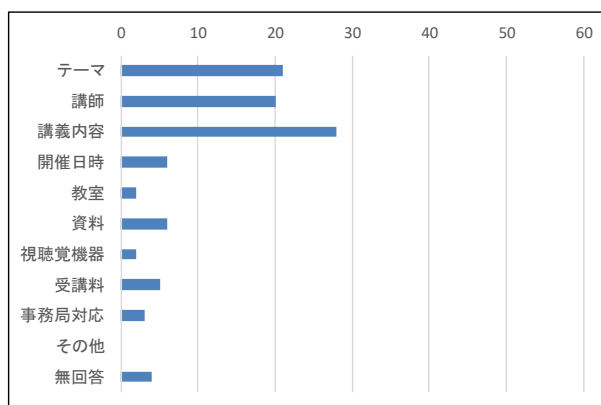
問1. 満足度

大変満足	7人
満足	29人
どちらともいえない	7人
不満	2人
大変不満足	0人
無回答	3人
合計	48人



問2. 問1で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点(複数回答可)や講師に向けての感想(自由記入)(抜粋)

テーマ	21人
講師	20人
講義内容	28人
開催日時	6人
教室	2人
資料	6人
視聴覚機器	2人
受講料	5人
事務局対応	3人
その他	0人
無回答	4人



- ・日本の将来を考える際に, とても参考になりました。
- ・苦手な分野なので難解だったが, 基本的な考え方や流れはわかりやすく説明いただいたと思う。
- ・パワーポイントなどを使わない講義がたいへんわかりやすく, よいと思った。理解や思考を深めることができた。
- ・大変興味深い内容で聞き入ってしまった。先生のお人柄も魅力的で, また講義をお聞きしたいと思った。
- ・今日的な問題を平易な語り口で懇切丁寧に講義していただき, 非常にためになりました。

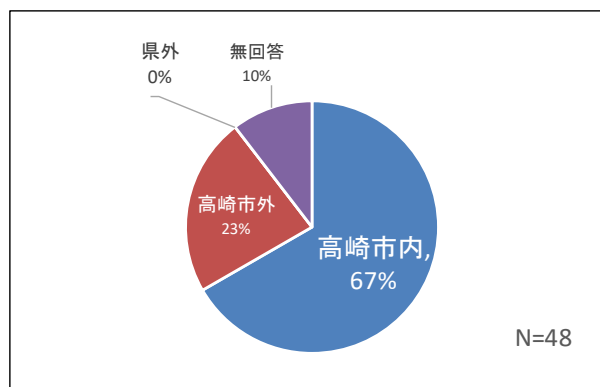
- ・ 講義のタイトルからはうかがい知れない面白い内容だった。フィールドワークの面白さ、またま
とめて教訓を引き出すことの大切さが分かった。
- ・ ますます重要になってくるテーマだと思います。特に高崎市の対策等にも踏み込んだ講義でした
ので、とても参考になりました。
- ・ すごかったです。先生の迫力ある講義！！米国と日本の関係もよくわかりました。とにかく感動
でした！よかった、ありがとうございました。
- ・ スポーツの話を経年を含め、体系的に聞いたのは初めてであり大変面白かったです。また、講師
の話し方も大変お上手でした。
- ・ 新しい知識を身に付けることが出来て、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。ありが
とございます。

問 3. 問 1 で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が指摘される点
(自由記入) (抜粋)

- ・ 面白そうな話でしたが、少し時間不足で残念でした。前編・後編、2 回位聞きたい内容でした。
- ・ 私にとって内容が難しすぎて理解するのが難しかったです。
- ・ 漠然としていた。短い時間での講義なので消化不良だと思った。
- ・ 一方的な講義。
- ・ 旬のテーマとしては良いが、中身が総花的であり、話題としては良いが、もっと絞ったテーマ内
容にしてもらいたかった。
- ・ 範囲が広すぎて理解不足という印象。専門家ではないので一点か二点にしぼり、ゆっくり説明し
た方が問題点も分かるし改善点もよく分かるのではないか。

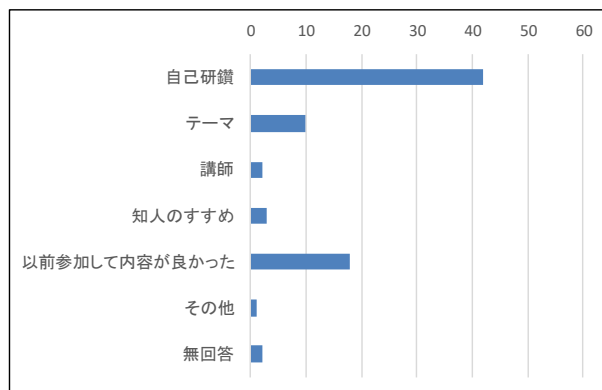
問 4. 通学・通勤・所属先の地域

高崎市内	32 人
高崎市外	11 人
県外	0 人
無回答	5 人
合計	48 人



問 5. 受講の理由(複数回答可)

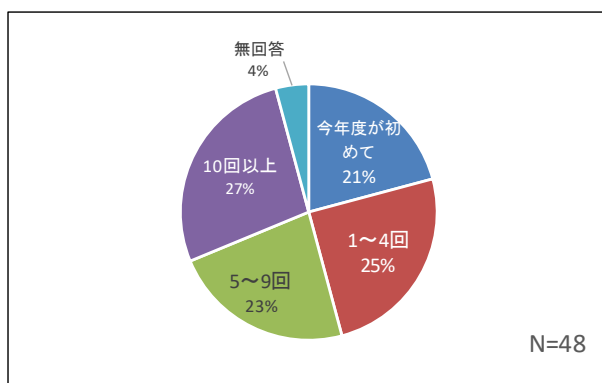
自己研鑽	42 人
テーマ	10 人
講師	2 人
知人に勧められた	3 人
以前参加して内容がよかった	18 人
その他	1 人
無回答	2 人



※その他…市広報を見て

問 6. 昨年度までの受講回数 (連携公開講座も含む)

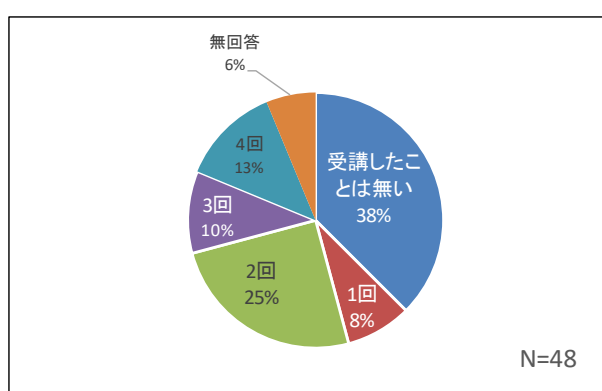
今年度が初めて	10 人
1~4 回	12 人
5~9 回	11 人
10 回以上	13 人
無回答	2 人
合計	48 人



※第 10 回ゼミ形式受講から毎年受講

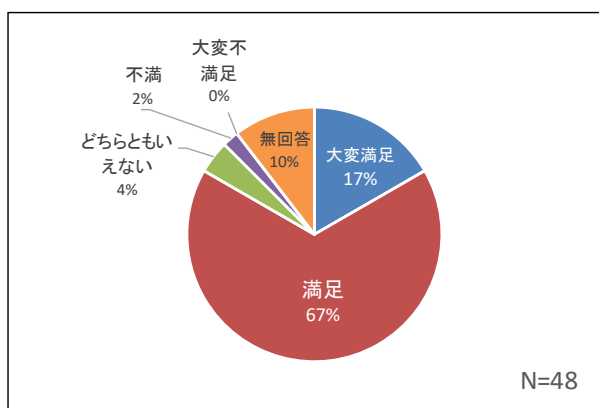
問 7. 春季連携公開講座の受講回数

受講したことはない	18 人
1 回	4 人
2 回	12 人
3 回	5 人
4 回	6 人
無回答	3 人
合計	48 人



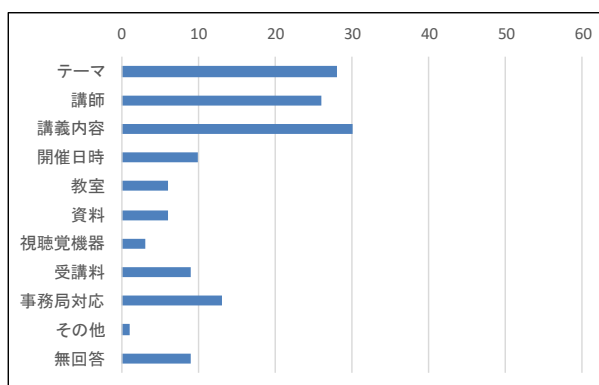
問 8. 今回講座の全体的な満足度

大変満足	8 人
満足	32 人
どちらともいえない	2 人
不満	1 人
大変不満足	0 人
無回答	5 人
合計	48 人



問 9. 問 8 で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可）

テーマ	28 人
講師	26 人
講義内容	30 人
開催日時	10 人
教室	6 人
資料	6 人
視聴覚機器	3 人
受講料	9 人
事務局対応	13 人
その他	1 人
無回答	9 人



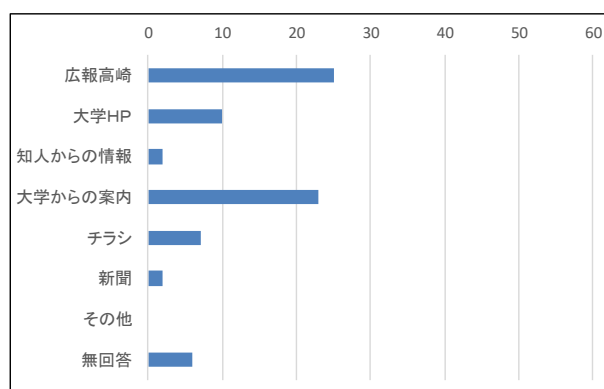
※その他…但しときどき時間不足

問 10. 問 8 で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が挙げた改善すべき点（複数回答可）（抜粋）

- ・就労中の社会人の立場で、大学の先生方の研究に関する話を聞くことにより自分自身、社会（政治経済や各種社会問題など）に関する視野が広がることを楽しみに受講しているが、ここ数年は期待はずれな 1,5Hr が増えている気がします。

問 1 1. 本講座をお知りになったきっかけ（複数回答可）

広報高崎	25人
大学ホームページ	10人
知人からの情報	2人
大学からの案内	23人
チラシ	7人
新聞	2人
その他	0人
無回答	6人



自由記述欄（取り上げてほしいテーマ・分野，事務局へのご要望・お気づきの点など）（抜粋）

- ・本日の講師はよく声が通り聞きやすかった。年齢が高い人が多いので、この点は効果が高いと思う。
- ・質疑応答も見られれば嬉しいです。もし、見られるようでしたら講義前にお知らせ下されると幸いです。（レジュメだけでの場合も含め全講義でも講師各自でも可）
- ・本日の講座はたいへん意義深いものでした。1回のみではなく、連続した複数回の講座の開講を希望致します。よろしくをお願いします。
- ・今年は県内の別の大学の、全く別テーマの公開講座に出ています。テーマも違って、どちらも新鮮です。質疑応答コーナーがどちらもありますが高経さんのやり方はいいなあと思います。用紙を配って手間だったり、紙の削減的には・・・とも思いますが、マイクを講習生にまわしていくのは、こんなにストレスなんだと思いました。私もこういう自由欄を長々と書くタイプで、同じかもしれませんが（笑）マイクを握ってウンチク攻撃（論は深まらない!）をする人、いつも同じ人が手をあげて占領する（質問したい人、他にいないのか。誰が質問するか分かってまたウンザリ）こういうのが、高経さんはコントロールされていて快適です。質問を読み上げる方も、読んでうまくまとめているのかもしれませんが。ありがとうございます。ホッとします。
- ・テーマ：地域に於ける企業の活動について
- ・世界や日本で直面している課題を取り上げてもらいたいと思います。また講義が相互に関連があると良いと思います。
- ・NHKのチコちゃんではないですが退職後「ボーっと生きているのではないよ」と言われないように努力していますが、経大でのテーマは多くの面にわたり脳みそが活性化されます。感謝しています。

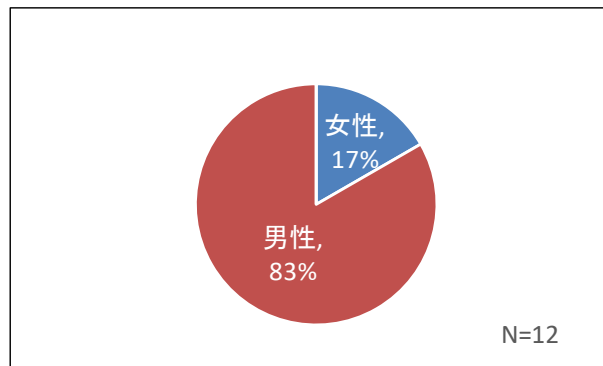
《第7回 地域めぐり「烏川流域の農業をめぐる」》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：12人(回収率：100.00%)]

問1. ご自身についてお答えください。

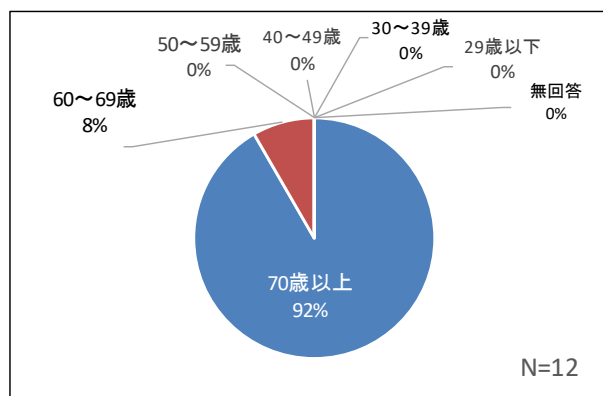
【性別】

女性	2人
男性	10人
合計	12人



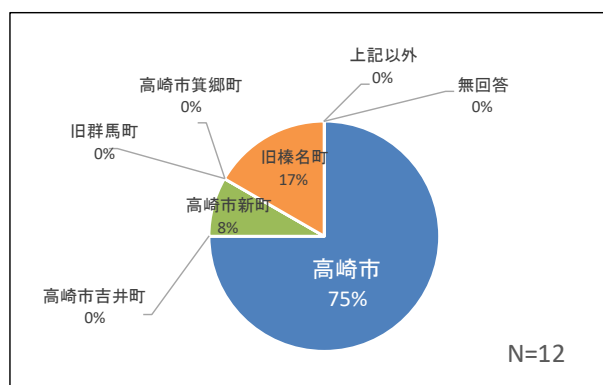
【年齢】

70歳以上	11人
60～69歳	1人
50～59歳	0人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	12人



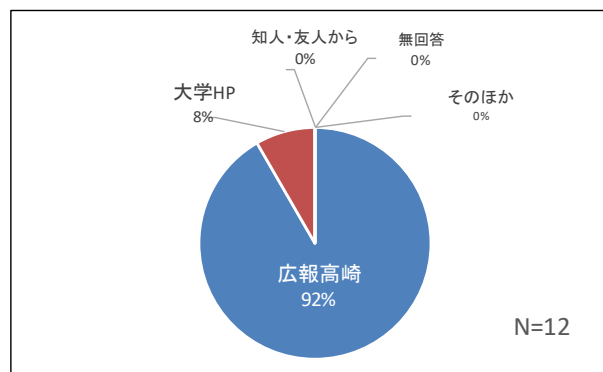
【お住まい】

高崎市	9人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	1人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	2人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	12人



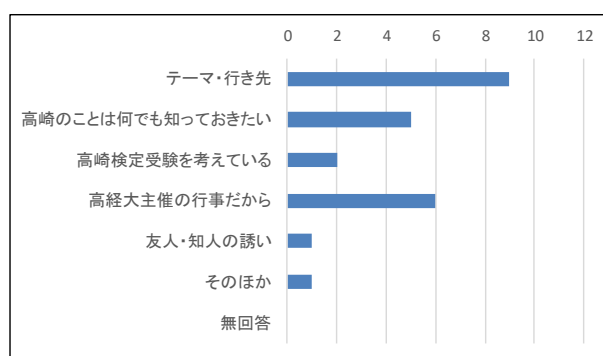
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	11人
大学のホームページ	1人
知人・友人から	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	12人



問 3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

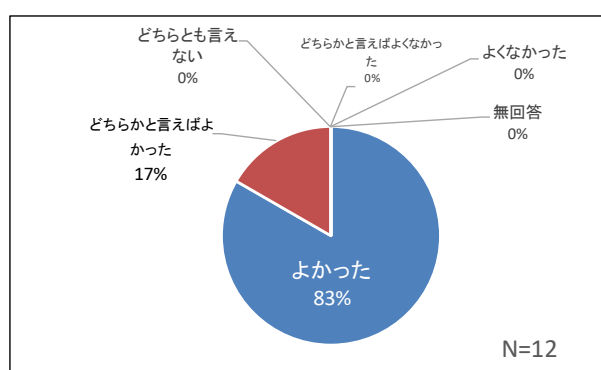
テーマ, 行先に 関心があった	9人
高崎のことは何でも 知っておきたい	5人
高崎学検定の受験を 考えている	2人
高崎経済大学が 主催する行事だから	6人
友人・知人に誘われたか ら	1人
そのほか	1人
無回答	0人



※そのほか……子ども達の健康問題の根本対策を考えるきっかけをつくりたいと考えたから

問 4. 参加された感想をお聞かせください。

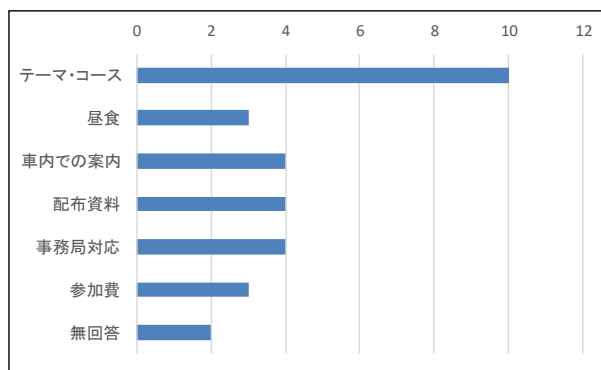
よかった	10人
どちらかと言えばよかった	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えばよ くなかった	0人
よくなかった	0人
無回答	0人
合計	12人



※バス車内で先生の詳しい説明に感動した。本当にありがとうございます。

問5. 問4の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。(複数回答可)

テーマ・コース	10人
昼食	3人
車内での案内	4人
配付資料	4人
事務局対応	4人
参加費	3人
無回答	2人



【ご意見】 (抜粋)

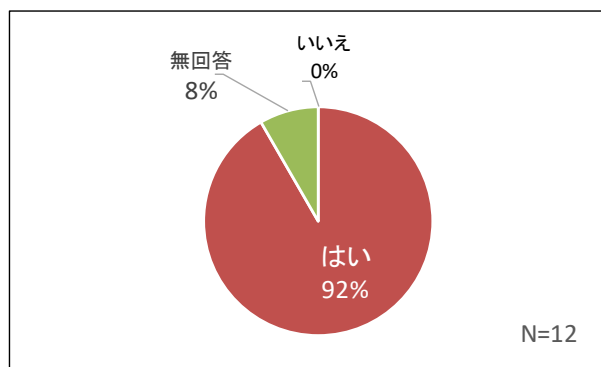
- ・草の会 これからの農業に期待できうれしかったが都会からの移住は良いとして、地元が離れるのは残念。彼等に理解むづかしいのか誇りを持てる教育指導も。
- ・自分の知らなかった事又農業に誇りをもってやっている人達がいる事を知りました。
- ・“倉淵”という今まで通過するのみであったが県道から鳴石という集落へ入り、生活をされていることを知り（そして開拓集落だからなおさら）安心しました。
- ・先生の説明が大変解りやすくとても良かった。
- ・昨日もささらぎ温泉に行きましたが関心があり、西野所長及び皆さんに大変お世話になりました。
- ・農業のことは全然知らなかったので、新しい農法の事を知り大変参考になりました。
- ・先生が車中でずっと講義をしてくれたので、予備知識として大分良かったです。

問6. 問4の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

アンケート回答なし

問7. 地域めぐりに、また参加したいと思われませんか。

はい	11人
いいえ	0人
無回答	1人
合計	12人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。ご希望があれば教えてください
(抜粋)

- ・100 (150) 年以上の建造物, 老舗めぐり
- ・今回のような内容
- ・市内, 街中の活性をどうするか!
- ・城めぐり等
- ・よろしく願います。いろいろなテーマを選んで下さい。
- ・地元の歴史街道の場所をお願いします。
- ・郷土の歴史, 文化について

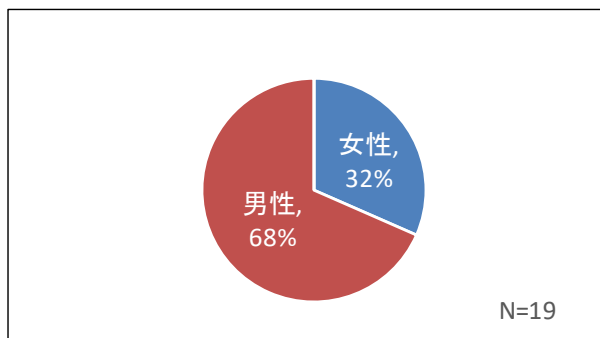
《第8回 地域めぐり「高崎の森をめぐる」》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：19人(回収率：100.00%)]

問1. ご自身についてお答えください。

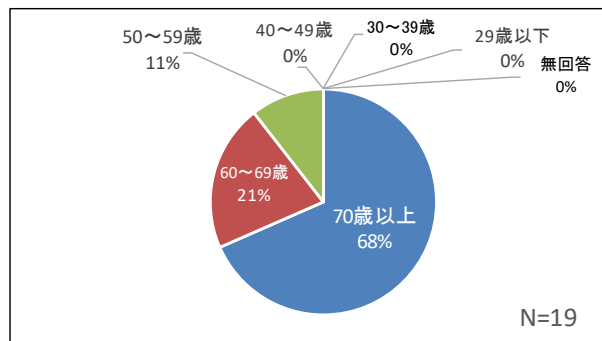
【性別】

女性	6人
男性	13人
合計	19人



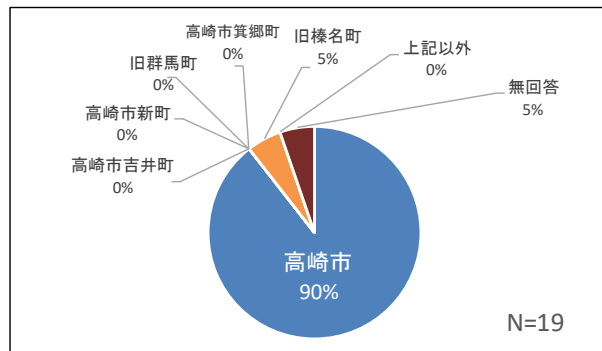
【年齢】

70歳以上	13人
60～69歳	4人
50～59歳	2人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
合計	19人



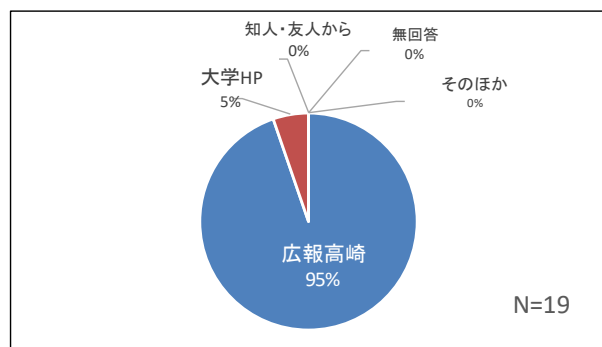
【お住まい】

高崎市	17人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	1人
上記以外	0人
無回答	1人
合計	19人



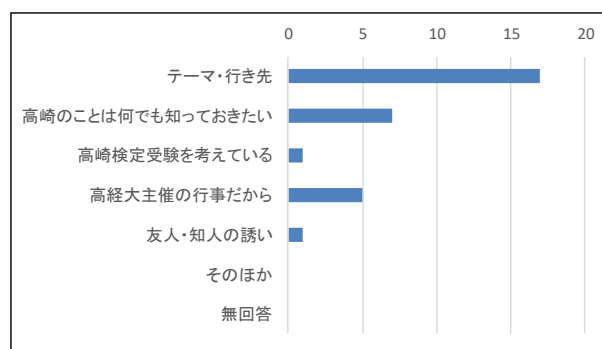
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	18人
大学のホームページ	1人
知人・友人から	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	19人



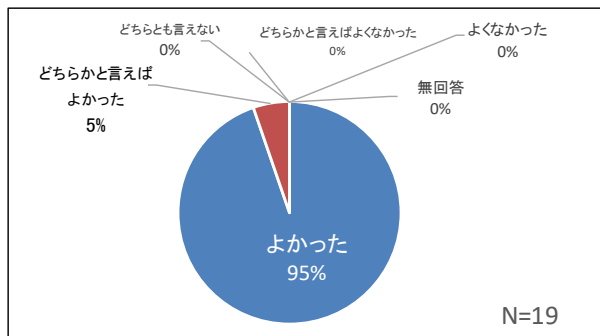
問 3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマ、行先に 関心があった	17人
高崎のことは 何でも知っておきたい	7人
高崎学検定の受験を 考えている	1人
高崎経済大学が 主催する行事だから	5人
友人・知人に誘われたか ら	1人
そのほか	0人
無回答	0人



問 4. 参加された感想をお聞かせください。

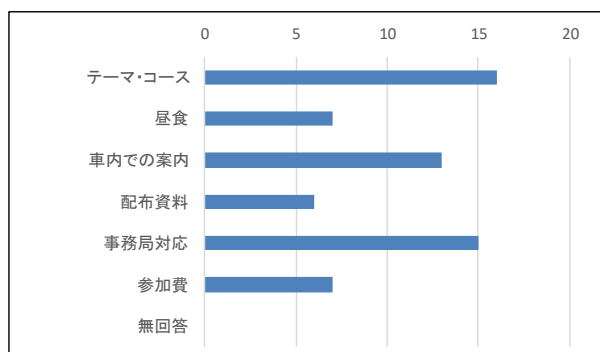
よかった	18人
どちらかと言えばよかった	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えばよくなかった	0人
よくなかった	0人
無回答	0人
合計	19人



問 5. 問 4 の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。

テーマ・コース	16人
昼食	7人
車内での案内	13人
配布資料	6人
事務局対応	15人
参加費	7人
無回答	0人

(複数回答可)



【ご意見】 (抜粋)

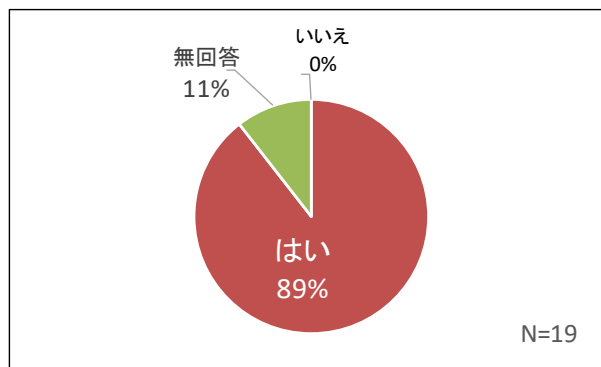
- ・コースが良かった。
- ・安い、適切な人数。
- ・森林の現実を知る事ができて勉強になりました。
- ・説明が分かり易く興味深く聞かせていただきました。テーマ内容について今後大いに興味を持って勉強して行きたいと思います。有難うございました。
- ・講師の名解説と事務局の親切なご案内。
- ・普段余り関心のなかったことでしたが、現状が良く分かり大変参考になりました。
- ・普段いけない所(市有林)に行けて良かった。

問 6. 問 4 の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

- ・野鳥の森の見学については、双眼鏡を用意した割には少しもの足りない感がありました。

問 7. 地域めぐりに、また参加したいと思われませんか。

はい	17 人
いいえ	0 人
無回答	2 人
合計	19 人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

ご希望があれば教えてください (抜粋)

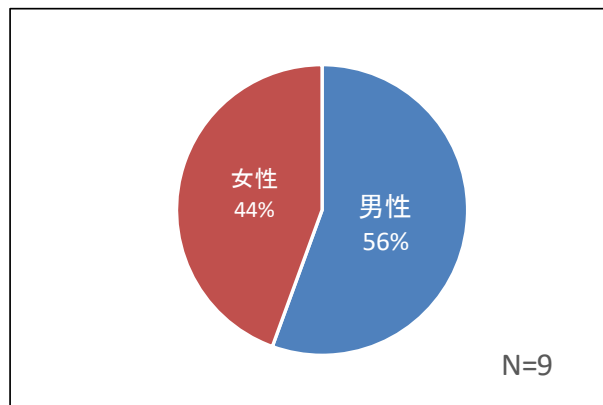
- ・街中をどうするか？
- ・歴史, 中仙道
- ・自然に関りのあるテーマで
- ・工場見学関係をお願いしたい
- ・長野堰の施設関係
- ・高崎市発信の商工業
- ・烏川流域めぐり
- ・150 年 (又は 100 年) 以上の企業・店・団体の建物の見学
- ・高崎城の歴史
- ・市内の発展の歴史

《第4回地域経営セミナー》

○受講者 9人 [有効回答数：9人 (回収率：100%)]

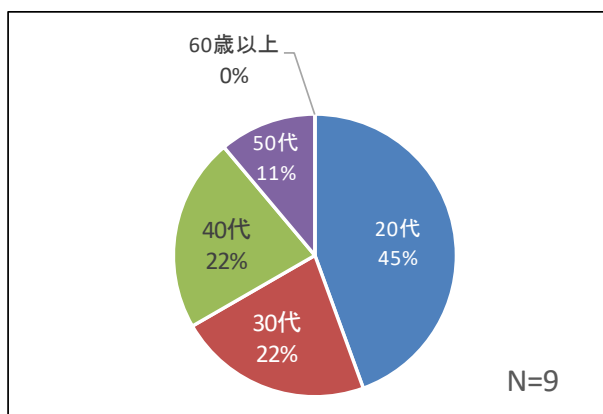
【性別】

男性	5人
女性	4人
合計	9人



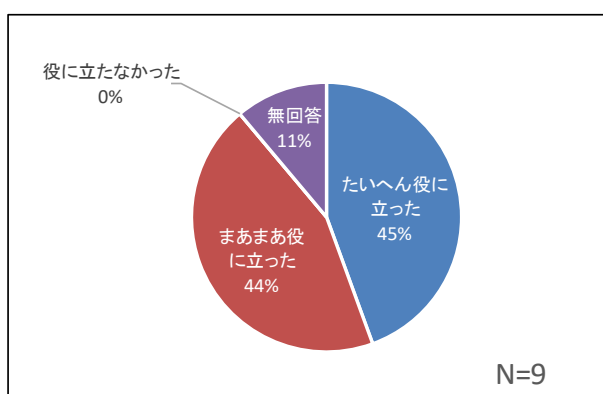
【年齢】

20代	4人
30代	2人
40代	2人
50代	1人
60歳以上	0人
合計	9人



問1. 本日の講演は日頃の業務に役立ちましたか

たいへん役に立った	4人
まあまあ役に立った	4人
役に立たなかった	0人
無回答	1人
合計	9人

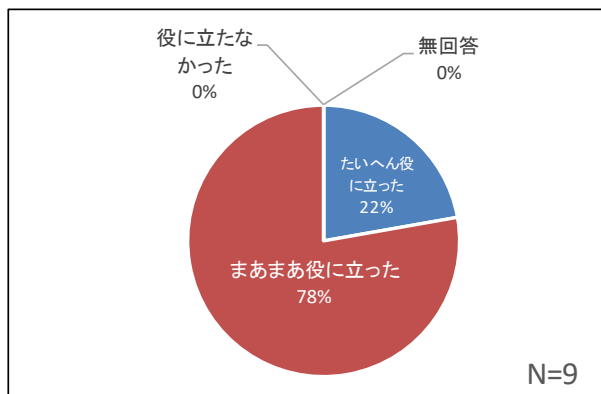


- ・ 普段大学で勉強しているSWOT分析などのマーケティング手法を行政でも考え方の柱として観光において用いることができるという講演内容は目からウロコでした。
- ・ 今後の考え方、施策の参考になった。
- ・ 観光の見方について新しいものが得られた。観光地のコントロールを通じて公害を解決しようという視点である。

- ・担当業務には直接はつながらないが多面的な視点を養うのにとっても役立ちました。
- ・公害はまだ起きてないように感じますが、これからの備えになったと思います。
- ・観光地域づくり、計画づくりに役立つ。

問 2. 本日のセミナーの討論について

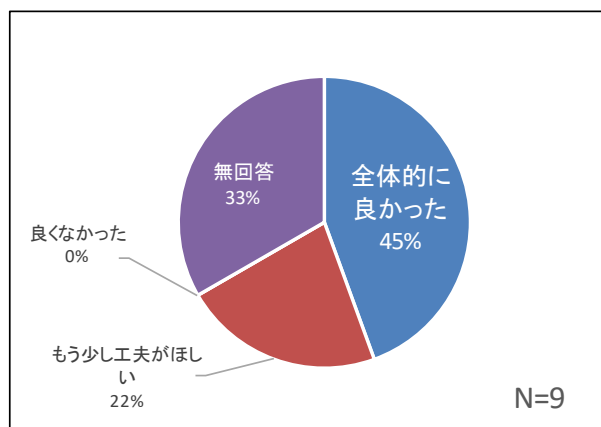
たいへん役に立った	2人
まあまあ役に立った	7人
役に立たなかった	0人
合計	9人



- ・県内の他地域の方からお話を伺うことができたため。
- ・観光に携わっておられる方の見方に触れることができ勉強になった。
- ・地元存続のために観光を利用することに熱心なこと、観光をやっていない住民との折り合いのつけ方を見つけようとしていることを学んだ。
- ・ただ講演を聞くだけではないので良かったです。
- ・もう少し時間が欲しい。

問 3. 本日のセミナー全体の評価について

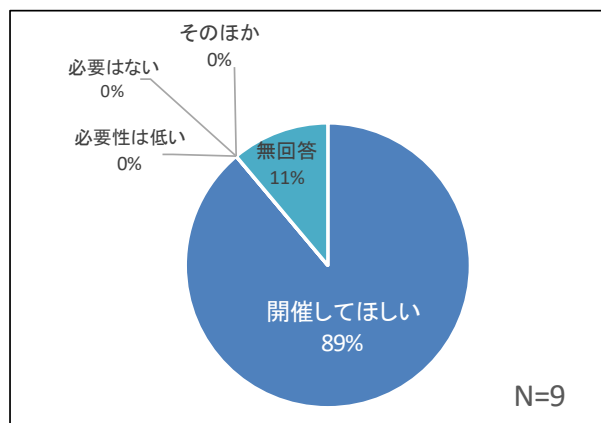
全体的に良かった	4人
もう少し工夫がほしい	2人
良くなかった	0人
無回答	3人
合計	9人



- ・ディスカッションに関して小さいグループではなく大きいグループで行えるとより多くの方と情報交換できるのではないかと思います。
- ・ワークショップの時間は、意見交換も含めもっと長く欲しいです。

問 4. (自治体職員対象のセミナー) 今後も開催した方がよろしいでしょうか

開催してほしい	8人
必要性は低い	0人
必要はない	0人
そのほか	0人
無回答	1人
合計	9人



- ・高経大が主催する自治体職員向けセミナーであるのに高崎市役所職員の参加が少ないのに驚きました。職員の意識の低さは恥ずかしい限りですが市役所職員課ともっと連携し合うなど受講者数を増やさないと開講の意味が弱まると思います。

問 5. 今後、このセミナーで取り上げてもらいたいテーマや講師名など (抜粋)

- ・高経の教授の方で空き家について研究されている教授がいらっしゃるのことで空き家問題をテーマとしたものにしてもらえると思います。
- ・マーケティングの仕方について、ポイントなど細かく勉強したいです。
- ・持続可能な観光について、群馬県として検討したい。

《第2回あすなろ市民ゼミ》

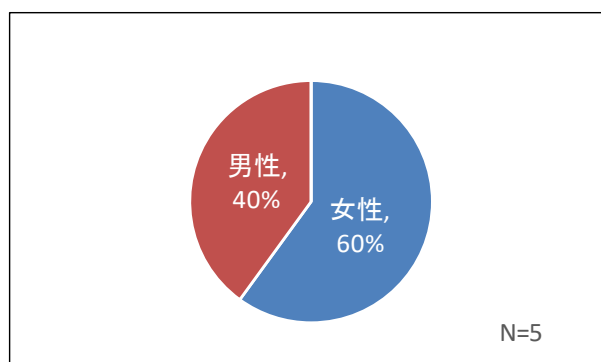
○8月20日のゼミ(講師:片岡美喜所員)終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。

[有効回答数:5人(回収率:83.33%)]

問 1. ご自身についてお答えください。

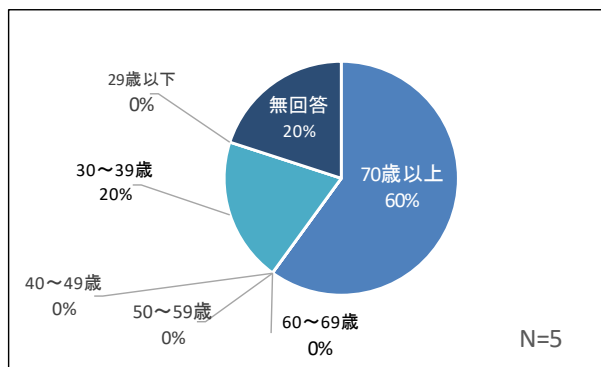
【性別】

女性	3人
男性	2人
合計	5人



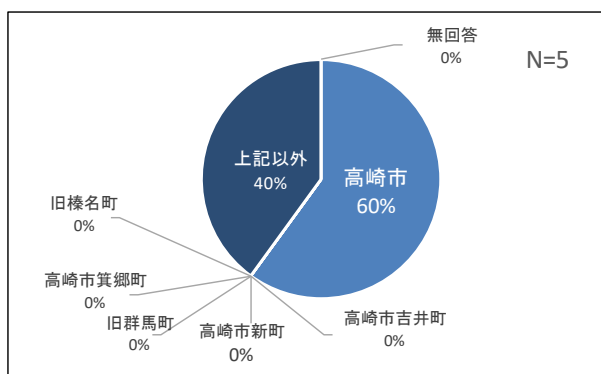
【年齢】

70歳以上	3人
60～69歳	0人
50～59歳	0人
40～49歳	0人
30～39歳	1人
29歳以下	0人
無回答	1人
合計	5人



【お住まい】

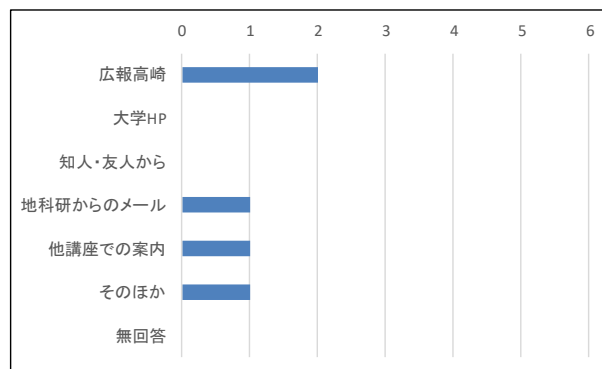
高崎市	3人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	2人
無回答	0人
合計	5人



※上記以外……安中市2人

問2. 本企画をどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

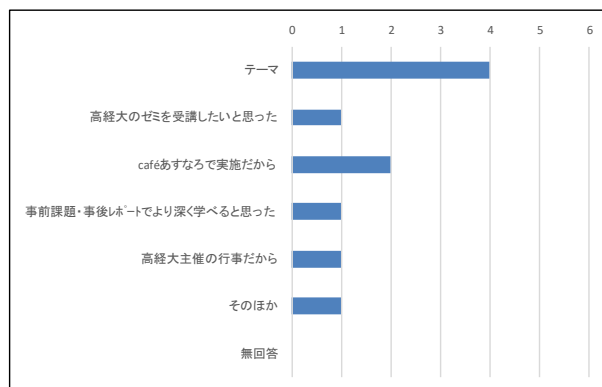
広報高崎	2人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	1人
他講座での案内	1人
そのほか	1人
無回答	0人



※そのほか……家族

問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマに関心があった	4人
高崎経済大学のゼミを受講したい	1人
cafe あすなろで実施するから	2人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	1人
高崎経済大学主催だから	1人
そのほか	1人

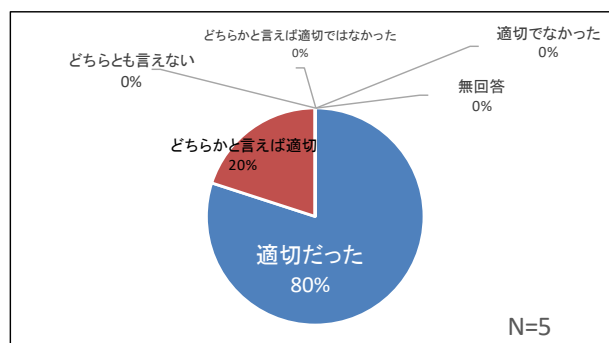


※そのほか……ゼミの学生参加と思い込んでいた

問 4. 受講された感想をお聞かせください。

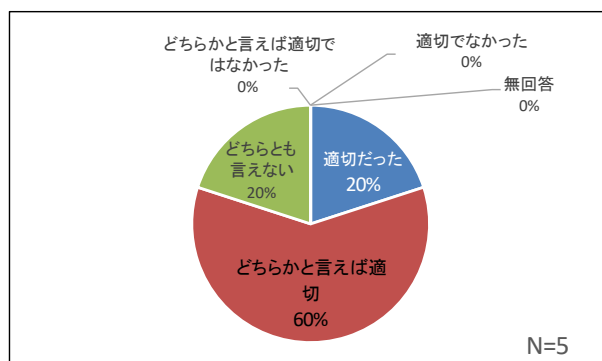
【テキストは適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



【受講前の課題は適切でしたか】

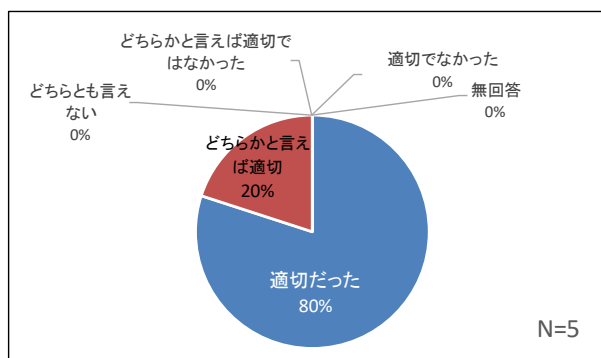
適切だった	1人
どちらかと言えば適切	3人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



※どちらとも言えない……もっと細かくテーマを絞ってる課題があった方がよかったか・・・

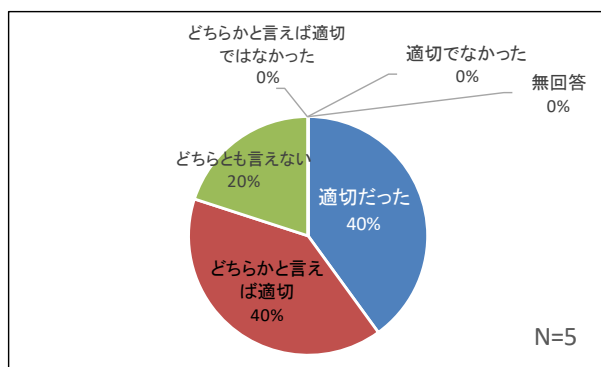
【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



【事後レポートの課題は適切でしたか】

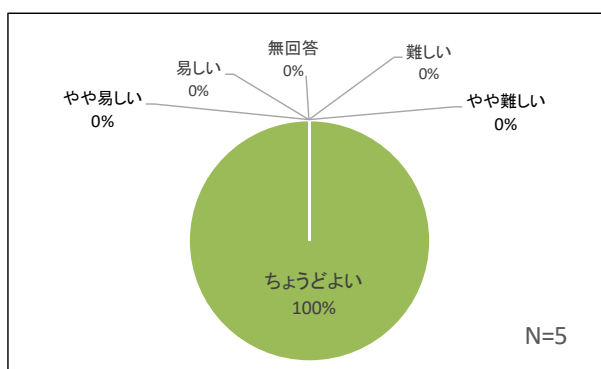
適切だった	2人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・ 的を絞った課題が考えをまとめやすいと考えられる。

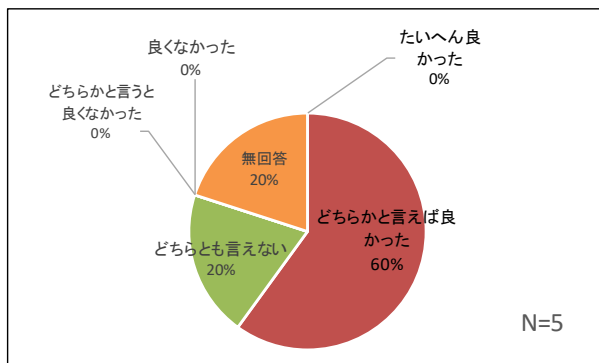
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	0人
ちょうどよい	5人
やや易しい	0人
易しい	0人
無回答	0人
合計	5人



問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

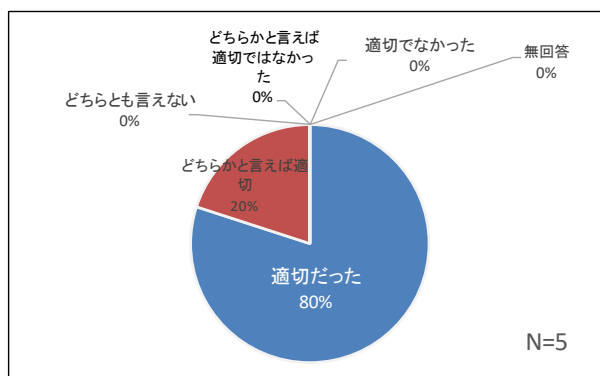
たいへん良かった	0人
どちらかと言えば良かった	3人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	1人
合計	5人



・大きなテーマを語り合うには時間が短い

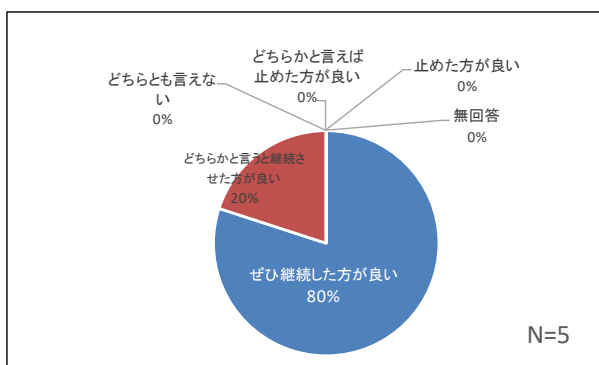
問7. cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



問8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	4人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	5人



問9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・講義、勉強というよりゼミとして、こんなプロジェクトを実行しようと思っているので興味がある人は集まって下さい的な方が実動につながるのでもいいと思う。
- ・片岡ゼミでは、農山村地域を対象に地域における経済的、社会的発展と資源の活用・保全を行っていくための方策について検討するため専門書を読み、議論して学ぶだけでなく現地調査や実践活動をされておられるとのことですので、ぜひその内容を学びたいです！片岡ゼミ以外でも行っている学生さんの活動を知りたいです！
- ・これから副業しても良いという企業も増えてくると思うので副業でも社会がまわるしくみややり方を考えていきたい。

問10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・実行しながら、講義ゼミくらいでいいと思います。知識、見識が高まっても実動がなければただの意見の出し合いだけになってしまう。
- ・今回、片岡ゼミの文献学習方法=LTD 話し合い学習法を学ばせていただき、聞くだけでなく市民も参加型の市民ゼミを知り、大変勉強になりました。しかし、この方法でも何のために参加するのかが見えてきません。聞くだけ、語り合うだけでなく、実践につながる学びの場がほしいと思いました。学生さんも交えて食や農の深刻な現状をしっかりと確認し、改善していく人づくりの輪をつくりたいです。そのためにも食についてであれば、農業や栄養士、JA 農協関係者ぐらいは同席して、質問に対応してもらえる講座が組んでもらえたら…と願っています。
- ・経済のまわし方、今必要とされる事、年齢別でできる事、していくべき事などの講義を聞いてみたいです。
- ・「広く浅く」のテーマでなく「狭く深く」もいいのでは。「市民ゼミナール」担当の先生のゼミの学生も一緒にだと、又、違った味が出るのではないか。(今回のゼミ、学生も参加と勘違いしていた。若者大好きなだけに少々気落ち。)

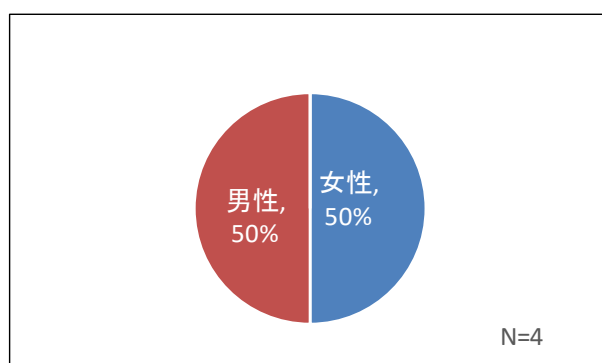
○9月3日のゼミ（講師：若林隆久所員）終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。

[有効回答数：4人（回収率：80.00%）]

問1. ご自身についてお答えください。

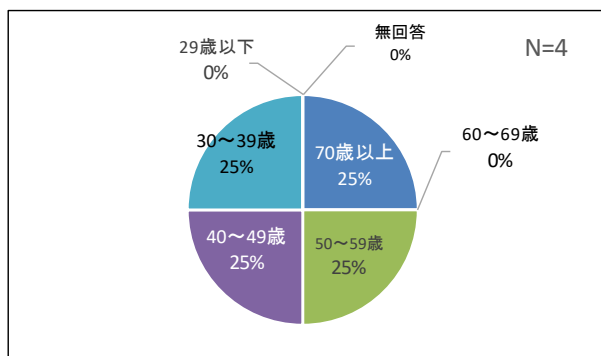
【性別】

女性	2人
男性	2人
合計	4人



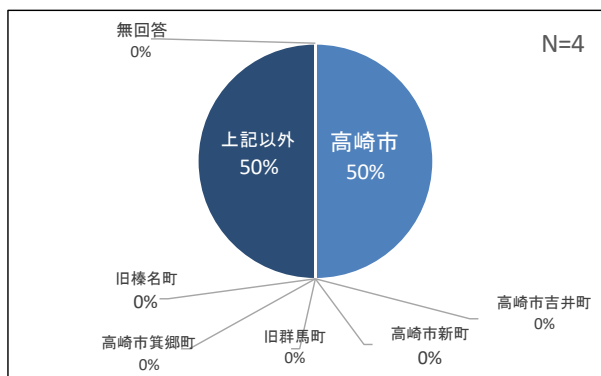
【年齢】

70歳以上	1人
60～69歳	0人
50～59歳	1人
40～49歳	1人
30～39歳	1人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	4人



【お住まい】

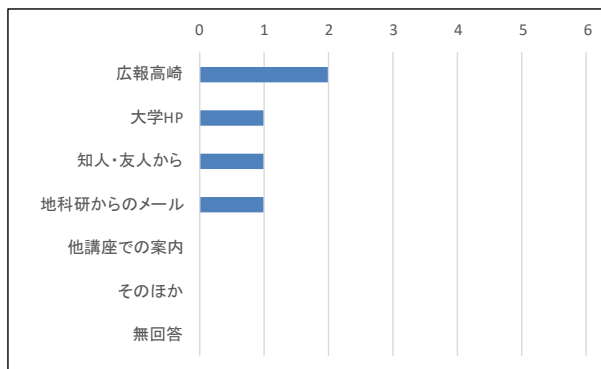
高崎市	2人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	2人
無回答	0人
合計	4人



※上記以外……安中市2名

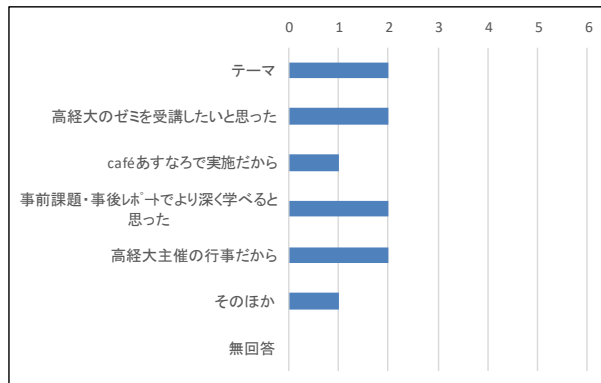
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

広報高崎	2人
大学のホームページ	1人
知人・友人から	1人
地域科学研究所からのメール	1人
他講座での案内	0人
そのほか	0人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマに関心があった	2人
高崎経済大学のゼミを受講したい	2人
cafe あすなろで実施するから	1人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	2人
高崎経済大学主催だから	2人
そのほか	1人

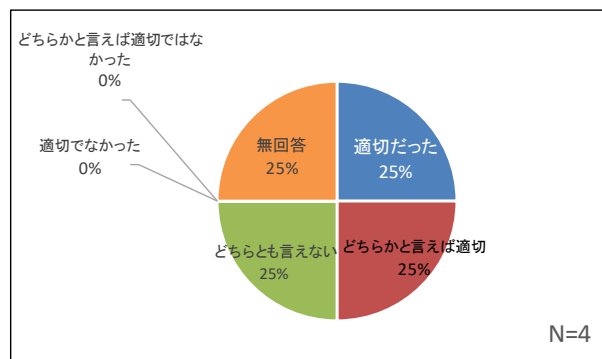


※そのほか……勉強したい

問 4. 受講された感想をお聞かせください。

【テキストは適切でしたか】

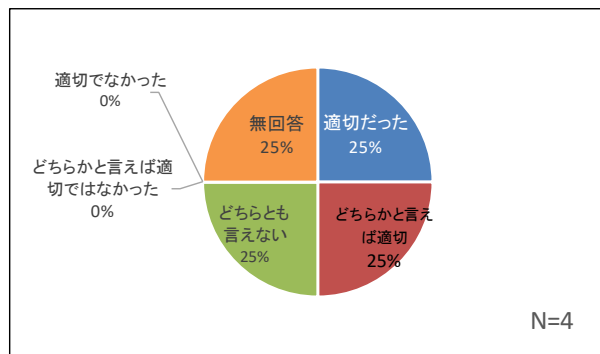
適切だった	1人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



- ・難しかった。同じ事が繰り返されている様に思えた。
- ・本代も手頃で良かった。

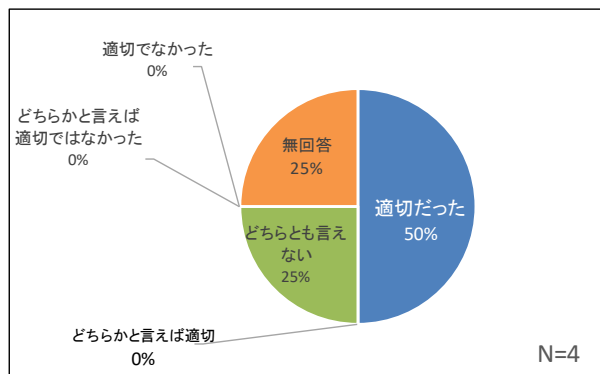
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	1人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

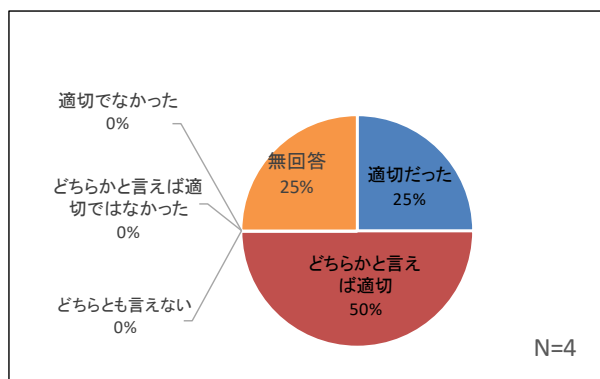
適切だった	2人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



- ・参加者間で意見の交流が活発に行えて良かった。
- 一方、もう少し講師の先生の体験，専門家としての意見をわかち合いたかった。

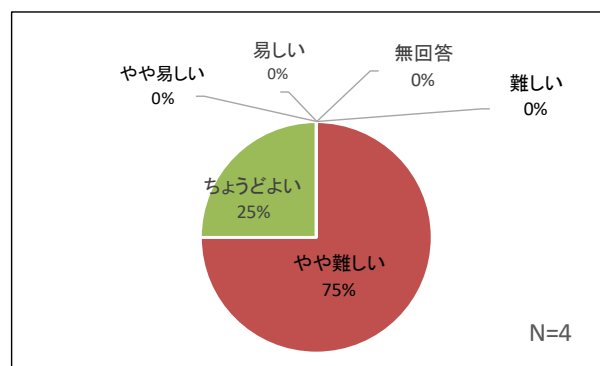
【事後レポートの課題は適切でしたか】

適切だった	1人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



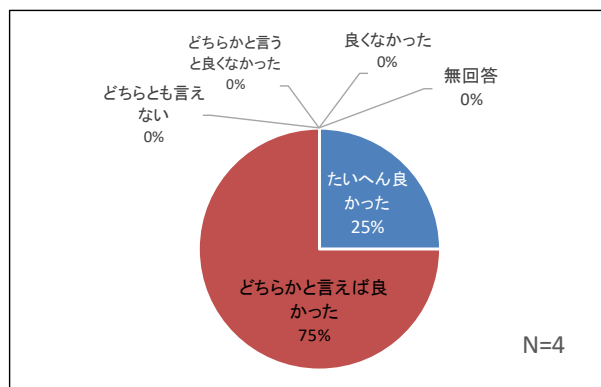
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	3人
ちょうどよい	1人
やや易しい	0人
易しい	0人
無回答	0人
合計	4人



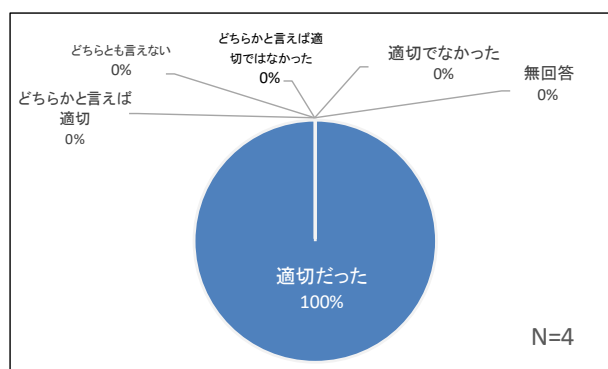
問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

たいへん良かった	1人
どちらかと言えば良かった	3人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



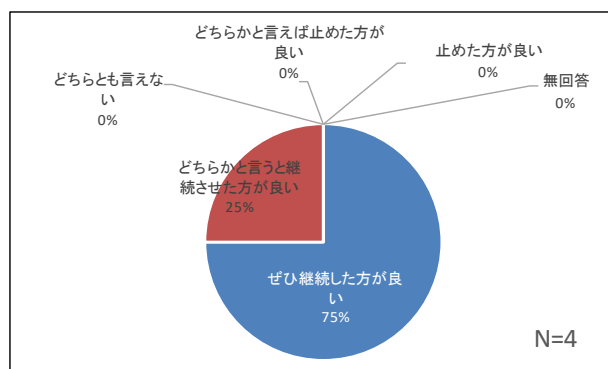
問7. cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



問8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	3人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	4人



問9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・申すまでもなく人生 100 年時代に入りました。これは避けられない事実です。これらに関連したテーマをどんどん取り上げていただきたい。
- ・海外の経済、政治状況と日本への影響について（英国の EU 離脱、米中貿易対立などについて etc）。アベノミクスと格差拡大および格差拡大の是正について。諸外国の消費税制度とその有効性。マレーシアは消費税を止めたが、GDP はどうなったのかなど。

問10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・貴大学に於いて私達一般社会人をお誘いいただき感謝いたしております。学生は若干物足りないと思いますが講師の先生方が老人にも理解出来る様に講義をして下さいます。私達老人が生きて行くのには例え年老いて身体は衰えていっても精神だけは弱らぬ様強い気持ちを持っていたと思います。それには学問をする以外にございません。これは自論ですが健康の秘訣だと信じております。加えてリレー講義は御歴々の講師の方々の講演を拝聴いたし満足いたしております。今後も続けていただければ幸甚です。
 - ・高経まで聴講等に行けない人もいますので、サテライト的に「あすなろ」などで、ゼミ的なものがあるのはとても良いと思う。夕方なら参加できる、参加してみたい社会人もいますので開催日時が多様だといいのではと思う。（大学、先生方の負担が大変だとは思いますが・・・）
- リカレント教育も必要な時代なので「市民向け」と名を打たなくても、聴講生などのシステムを利用しやすいものにしてもらえたら有難い。もちろん従来の公開講座的なものも評判が良いのでぜひ続けてほしい。

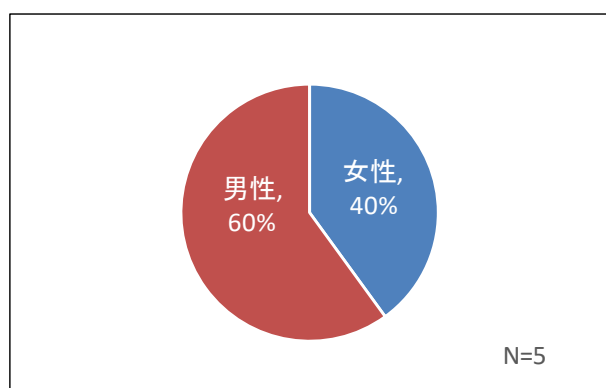
○9月13日のゼミ（講師：米本清所員）終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。

[有効回答数：5人（回収率：100%）]

問1. ご自身についてお答えください。

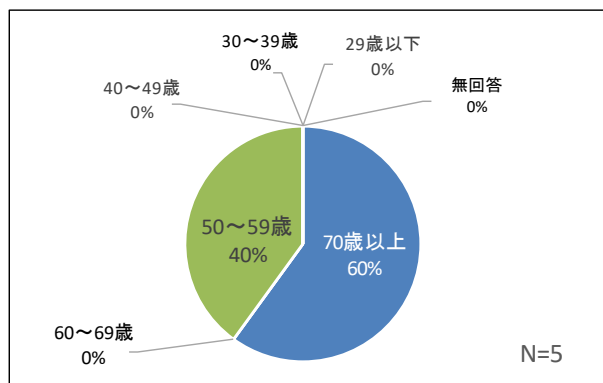
【性別】

女性	2人
男性	3人
合計	5人



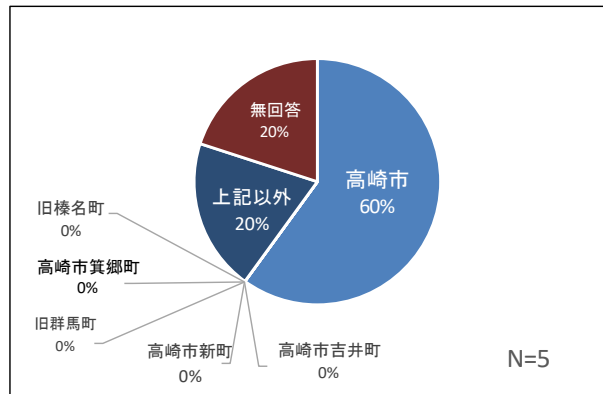
【年齢】

70歳以上	3人
60～69歳	0人
50～59歳	2人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	5人



【お住まい】

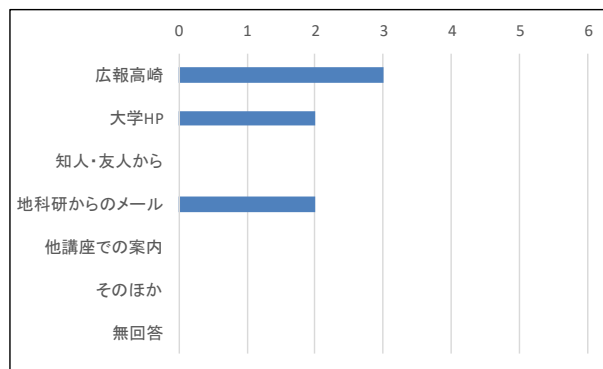
高崎市	3人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	1人
無回答	1人
合計	5人



※上記以外……前橋市

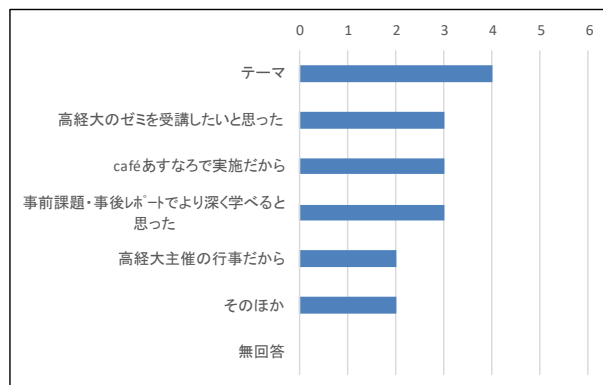
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

広報高崎	3人
大学のホームページ	2人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	2人
他講座での案内	0人
そのほか	0人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマに関心があった	4人
高崎経済大学のゼミを受講したい	3人
cafe あすなろで実施するから	3人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	3人
高崎経済大学主催だから	2人
そのほか	2人

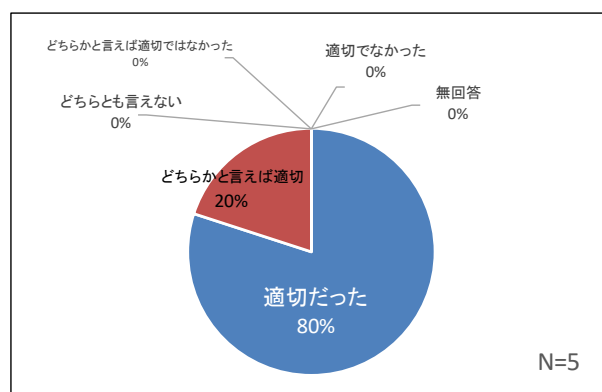


※そのほか……多くの方々に受講していただきたい

問 4. 受講された感想をお聞かせください。

【テキストは適切でしたか】

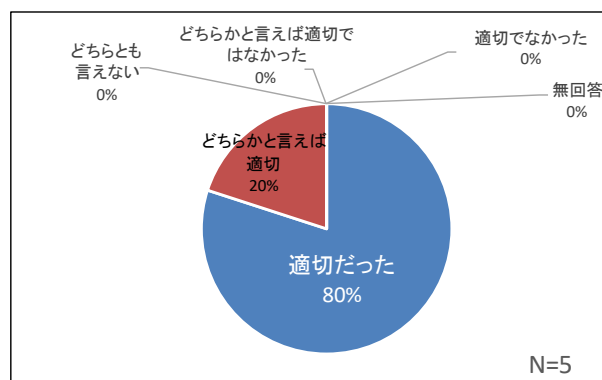
適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・テキスト代が手ごろでよかった

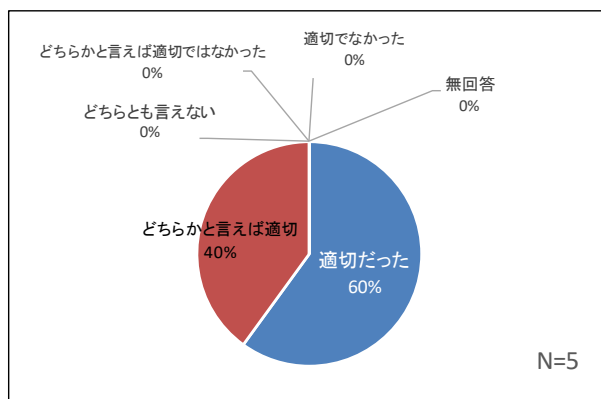
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



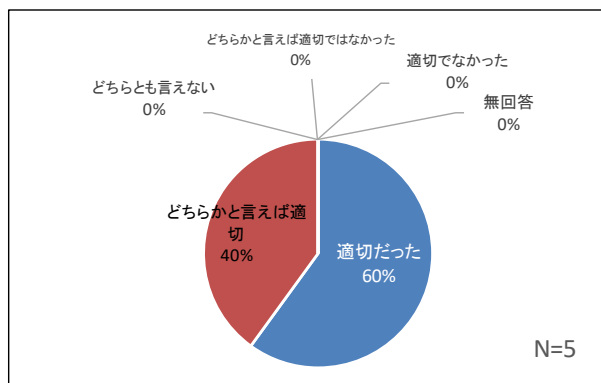
【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

適切だった	3人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



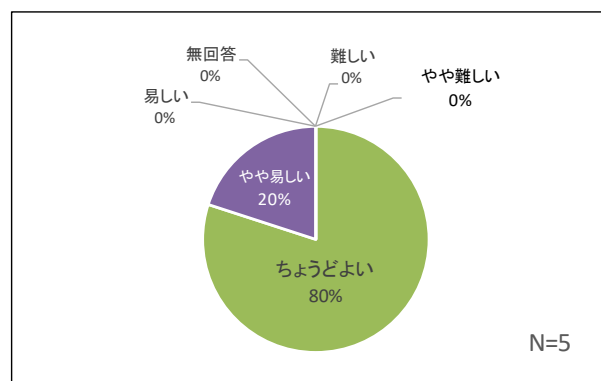
【事後レポートの課題は適切でしたか】

適切だった	3人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



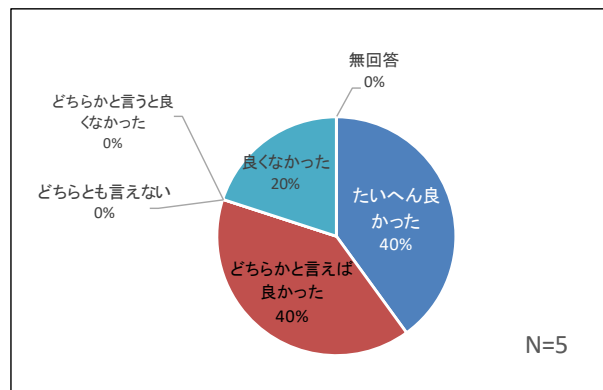
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	0人
ちょうどよい	4人
やや易しい	1人
易しい	0人
無回答	0人
合計	5人



問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

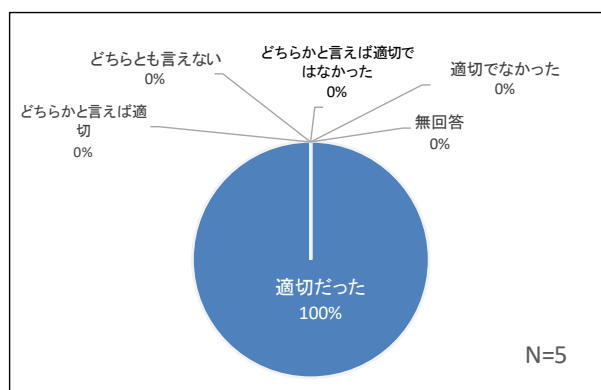
たいへん良かった	2人
どちらかと言えば良かった	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	1人
無回答	0人
合計	5人



- ・内容が多岐に渡るため、1回では時間が足りなかったように感じた。
- ・事前課題に対するディスカッションの時間がない。「課題→商店街の解決策」どう解決するかまで深められず昔話に終わってる。
- ・講師の話す時間が長すぎる。
- ・国の政策を整理した話しは良。
- ・参考本の紹介より、講師の上越市での発表の紹介→高崎とかをどうするかという展開の方がよいのではないかな。（高崎という地域でやってるゼミなのだから）
- ・1, 2回は出席していないが全体的な議論の進め方を考えた方がよい（講師ごとにまかせっぱなししてる感あり）

問7. cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

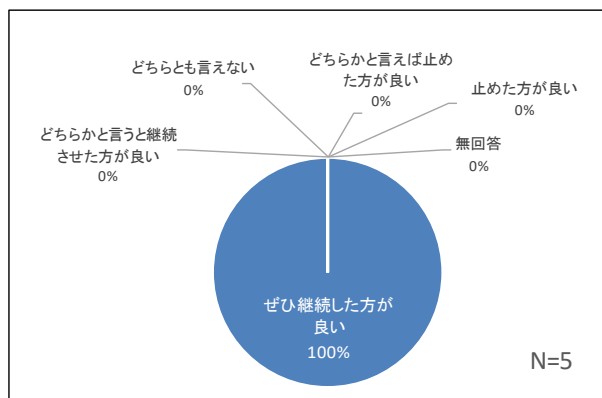
適切だった	5人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



- ・雰囲気も良く落ち着いた。コーヒーがおいしかった。ケーキはなくてもいいかもしれない。
- ・事情で甘いものを控えていて食べられぬ人もいる。ケーキなしで参加費を少し安くできないだろうか。

問 8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	5 人
どちらかと言うと 継続させたほうが良い	0 人
どちらとも言えない	0 人
どちらかと言えば 止めた方が良い	0 人
止めた方が良い	0 人
無回答	0 人
合計	5 人



問 9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・ 大きい事を言う様ですが高崎には日本人が誇る上野三碑があります。恥ずかしながら私はこの事は他県の方に聞きました。これをテーマにお願い致します。
- ・ アベノミクスの真実・功罪
- ・ 社会における格差
- ・ 海外時事問題と日本経済 (UK の EU 離脱, アメリカ FRB の政策など)
- ・ 消費税と公平 (公正) な税負担

問 10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・ 今や経大卒生は 1 都 46 県に於いて大活躍されている。ましてや高崎市内では当然の事ながら溢れていると申しても過言ではない。その昔あすなるは市内本町にあったコーヒーコールあすなるだった。第 2, 第 3, 第 4 のあすなるがあっても不思議でない。駐車料を心配しながらコーヒーは飲む事は出来ない。当大学は無論の事, 行政がもう少し検討すべきだと思う。失礼ながら鞆町は淋し過ぎる。老若男女が気軽に出入り出来る場所にしてもらいたい。若干失礼を申し上げたがお許し下さい。
- ・ 学生と共に学ぶ講座
- ・ 市民ゼミ 1 つのゼミに 2 回は必要 (2 時間では消化不良)
- ・ 地域に大学の知を開放していく試みは大変良いと思う。リカレント教育の大切さがよく言われる。「市民向け」とあまりこだわらずにぜひ様々な講座で聴講生を受け入れてほしい。
- ・ 今回のあすなる市民ゼミについてだが、各ゼミの内容が深いので (少なくとも米本先生ゼミは) 同じ講師が 2 回担当し、2 度目は 1 回目終了後に寄せられた質問に答えることを織り込みながらゼミを持つのも一考かと思った。

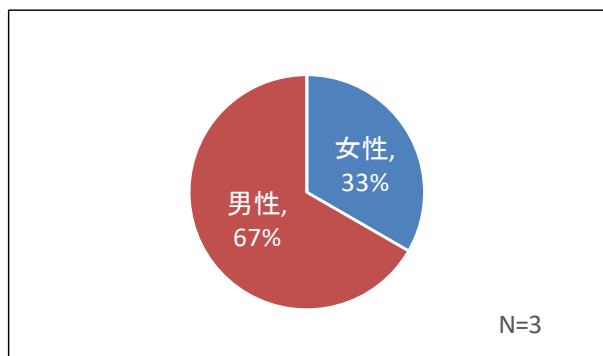
○9月25日のゼミ（講師：森周子所員）終了後，アンケートを実施。

[有効回答数：3人（回収率：60.00%）]

問1. ご自身についてお答えください。

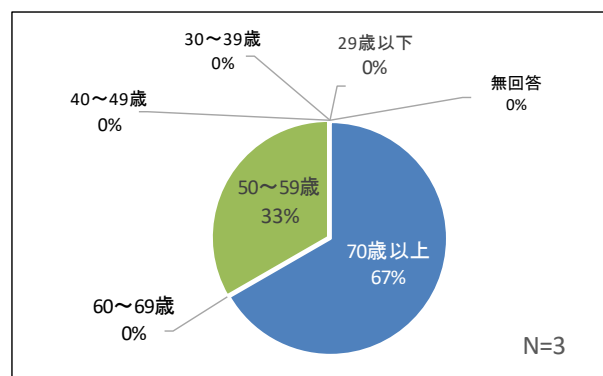
【性別】

女性	1人
男性	2人
合計	3人



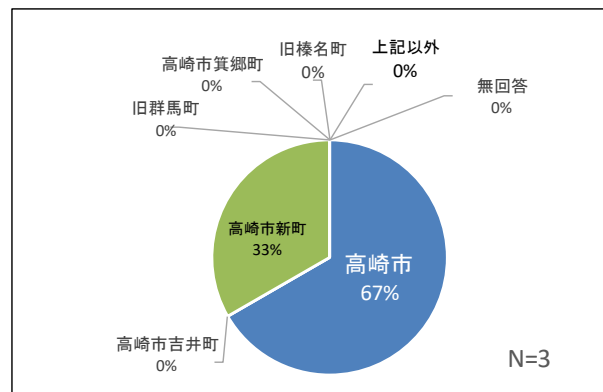
【年齢】

70歳以上	2人
60～69歳	0人
50～59歳	1人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	3人



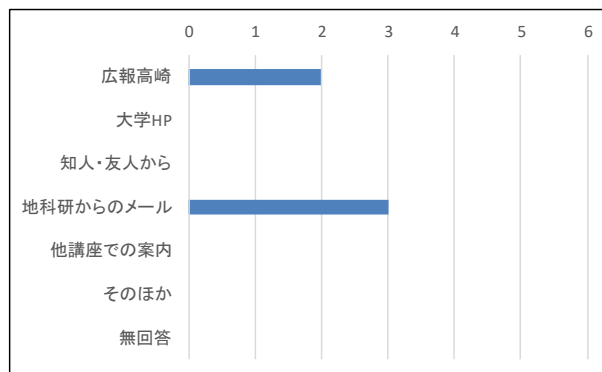
【お住まい】

高崎市	2人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	1人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	3人



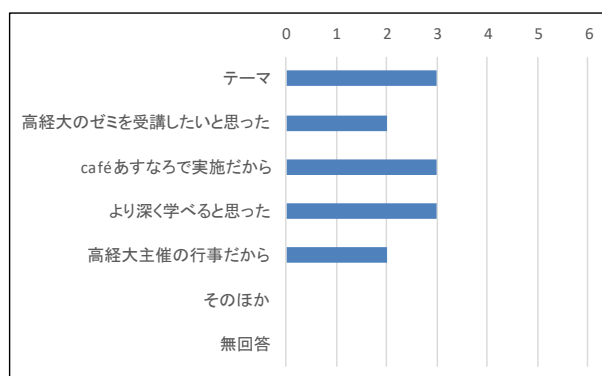
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

広報高崎	2人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	3人
他講座での案内	0人
そのほか	0人
合計	5人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

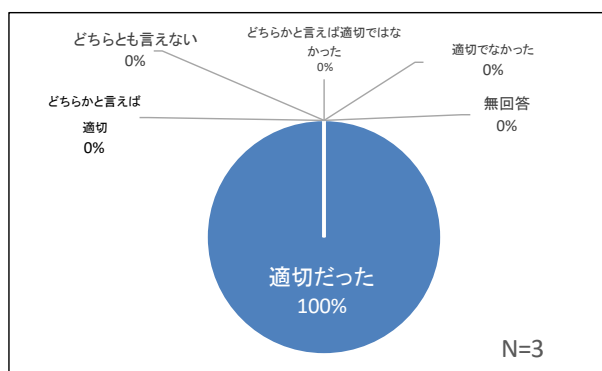
テーマに関心があった	3人
高崎経済大学のゼミを受講したい	2人
Cafe あすなろで実施するから	3人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	3人
高崎経済大学主催だから	2人
そのほか	0人



問 4. 受講された感想をお聞かせください。

【テキストは適切でしたか】

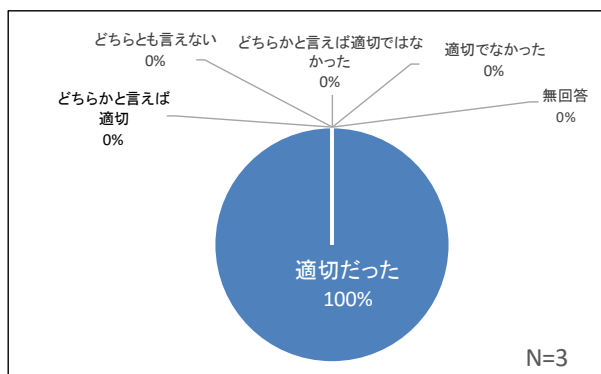
適切だった	3人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	3人



・入手しやすく価格も手ごろで良かった。

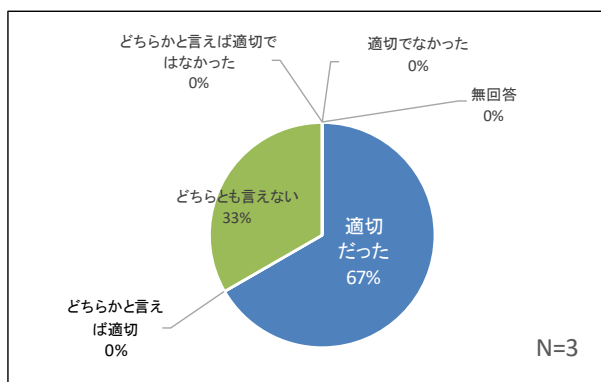
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	3人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	3人



【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

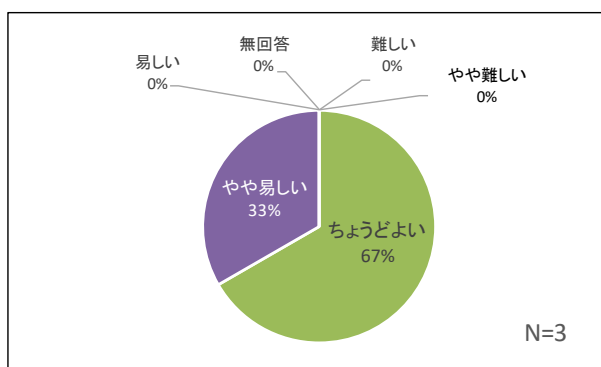
適切だった	2人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	3人



・参加者同士で様々話を出し合って話せたのは良かったが、期待していたようなゼミ形式ではなかった。せっかく大学の先生が担当されるのだから専門家として我々の知らぬ他の国の例、国の対策、他の地域のケースなどを話して欲しかった。会のファシリテーターに徹する必要はないと思う。

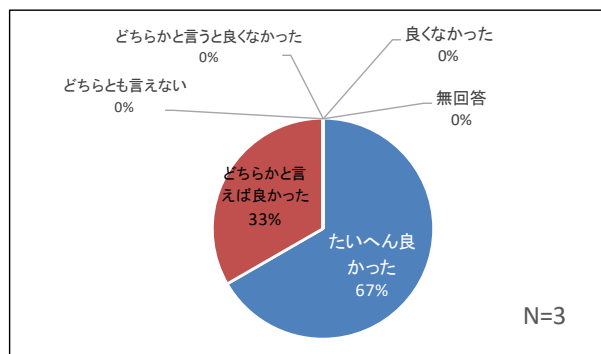
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	0人
ちょうどよい	2人
やや易しい	1人
易しい	0人
無回答	0人
合計	3人



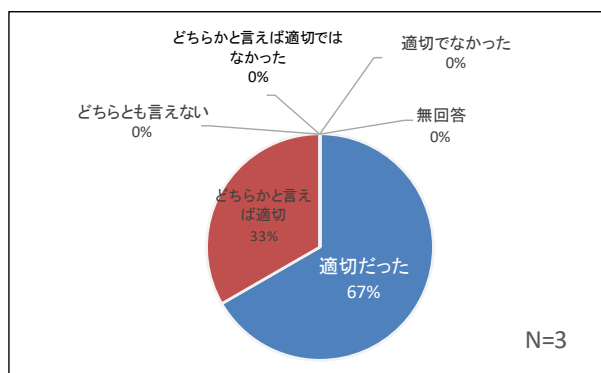
問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

たいへん良かった	2人
どちらかと言えば良かった	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	3人



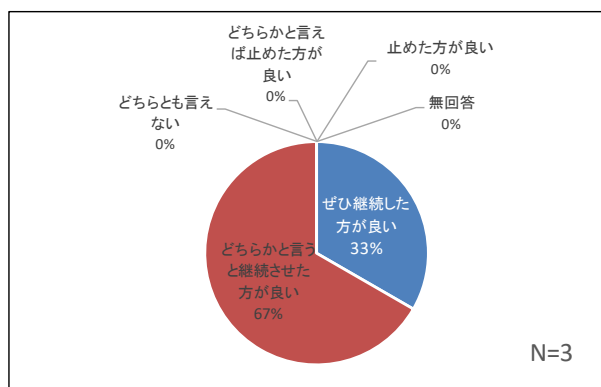
問7. cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

適切だった	2人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	3人



問8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	1人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	3人



- ・市民ゼミナールということで対象者が一般社会人の為、講師の方々が遠慮なさっているように感じるがあった。せっかくの機会であるから講師として研究で得たものを、もっと話してもらえると良いと思う。今回のゼミは参加者それぞれの考えを座談会よろしく述べていることが多く、あまり新しい情報も個人的には得られず、時間の制約もあり話し合いも深まっていないように思う。

問9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・高崎市誕生のルーツ
- ・アベノミクスの検証
- ・格差社会の実態
- ・社会調査の方法とその読み方

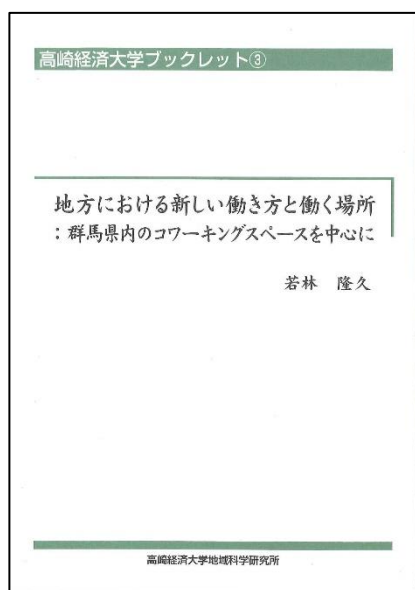
問10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・この事はたびたび申し上げており、重複していると思いますが、再々度申し上げます。リレー講義は毎回御歴々の講師の方に学校当局の事務方でも大変だとお察しいたします。学生諸君も真剣に聞いており教科書以上と申しても過言でないと思います。加えて私達一般市民も大変勉強になります。市当局がどの位応援して下さっているか存じあげませんが幸い現市長は教育関係のご出身の様ですからご理解いただけるのではないのでしょうか。沼賀市長時代はかなり御協力いただいたかの様に記憶いたします。
- ・このように一般市民に開かれた講座、ゼミは積極的に行って欲しい。大学のキャンパスは市街郊外にあり、車を持たぬもの、運転をしないものにはアクセスが良いとも必ずしもいえないので今回の街中ゼミのようなものは良い試みと思う。あすなろでの「市民ゼミ」はレポートに講師のコメントがもらえるのが魅力的だ。毎回、一回限りの御縁ではなく何かでそれをきっかけに継続的に繋がれると良いと思う。
- ・「あすなろ」は落ち着いていていい会場。やはり今回もケーキは不要か、とも個人的に思った。可能ならコーヒー等と何かビスケットのような軽い物が添えてあれば十分で、むしろ参加費を安くしていただける方がありがたい。

高崎経済大学ブックレット新刊案内

高崎経済大学地域科学研究所では、高崎市民、群馬県民のみなさまに、高崎市の歴史や現状をよりよく知っていただく一助となるよう、高崎経済大学ブックレットを刊行しています。

この度、ブックレット第3号『地方における新しい働き方と働く場所』を刊行いたしました。



第3号は、地方都市にも新たに浸透してきている働き方や働く場所について、地域科学研究所・若林隆久所員(地域政策学部准教授・経営学)が執筆いたしました。新しい働き方や働く場所、および、その背景について説明しています。その上で、把握できた群馬県内のすべてのコワーキングスペースと、県外・海外のいくつかのコワーキングスペースを紹介しています。コワーキングスペースは、単に働くためだけの場ではなく、ときには地域づくりや地域の中と外を結びつける場となっています。身近に登場してきているコワーキングスペースを、ぜひ訪問・利用してみてください。

【目次】

序章	はじめに
第1章	新しい働き方と働く場所
第2章	新しい働き方と働く場所の登場の背景
第3章	群馬県内のコワーキングスペース
第4章	県外・海外のコワーキングスペース
第5章	地方における働き方と働く場所
終章	おわりに

地域科学研究所動静

- ・研究プロジェクト「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」の公開研究会が2月19日に本学図書館ホールで開催されました。研究プロジェクトメンバー6名(矢野修一所員、永田瞬所員、阿部圭司所員、米本清所員、野崎謙二所員、溝口哲郎所員)より、令和元年9月に実施したベトナム・タイの企業調査についての事例報告が行われました。参加者からは多くの質問が出され、活発な意見交換が行われました。
- ・地域科学研究所特定研究員の本年度研究成果報告会を2月19日に開催しました。特定研究員は、本学の博士後期課程を修了・満期退学した者および本学の特命教員、任期制助手のうち、本研究所で研究活動を行っている者です。
- ・地域科学研究所紀要「産業研究」第55巻第1・2合併号を発行しました。今号では、論文2本、研究ノート2編、地域経済レポート1編、書評1編を掲載しました。論文等は、近日中に本学ホームページ(リポジトリ)で公開します。

編集後記

時代は平成から令和に変わりました。本来であれば、慌ただしくも新時代を迎え充実した1年を過ごすことができたと言いたかったところですが、年度末の多忙の中、新型コロナウイルス感染症が日本だけでなく、世界各国で流行し人々の生活に支障をきたす事態となりました。本学でもその対応に追われ、こと地域科学研究所におきましても、国内外での研究が中止の事態となるなど、計画通りに事業が進まなかったこと、研究成果を生かすことができなかつたことは非常に残念に思います。一刻も早く終息し、普段と変わらぬ大学生活に戻ることを切に願う次第です。

さて、本研究所は開設されてから、早いもので丸5年となります。これまで高崎市等の諸課題を分析、研究し、その成果を地域・社会に提供してきました。地域の研究機関としてその存在感が市内外に示されていることは、大変すばらしいことであり、改めて所員の先生方の研究努力に敬意を表するものです。

私は今年度から地科研業務に携わっていますが、1年を通じて特に感じたこと、驚かされたことが公開講座や地域めぐり、公開講演会など、自ら積極的に参加された方々が皆、講師に耳を傾け、時にメモを取るなど熱心に学んでいる姿でした。いくつになっても自らが学び、自らが物事の体験を繰り返すことは大切なことです。本当に頭が下がる思いであり、私自身、大いに見習うべきところではあります。次年度も是非ご参加いただき、見聞を広げていただければ幸いです。

結びに、今年度も西野所長はじめ所員の先生方には大変お世話になりました。来年度も様々な研究の下、地域・社会貢献が図れるようお力添えをいただきたいと思います。事務局におきましても業務の一端を担うべく担当者一同微力な

がらお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願いたします。(K I)

高崎経済大学地域科学研究所

ニューズレター No.14

発行 2020年3月31日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS